



平成26年4月25日発行（隔月一回25日発行）

Circulation Journal 第78巻5号 付録（通巻第136号）

日本循環器学会 会 告

Contents

- 1 第79回日本循環器学会学術集会**
 - 開催概要
 - プレナリーセッション、シンポジウム公募演題募集要項
 - ホームページ案内・一般演題応募要領
 - Late Breaking Clinical Trials 演題募集要項
 - Late Breaking Cohort Studies 演題募集要項
 - 学会賞応募要領
- 25 2014年度日本循環器学会留学支援助成募集要項**
- 26 編集委員長からのメッセージ**
- 35 女性循環器医の勤務環境改善のための提言**
- 36 循環器専門医制度**
 - 2014年度 日本循環器学会認定循環器専門医資格認定審査について
 - 専門医認定更新の手続きについて
 - 専門医認定更新研修の必修化について
 - 学術集会・地方会での専門医研修単位登録について
 - その他専門医制度に関する手続き・問い合わせ
- 43 地方会・関連学会・研究会情報**
 - 専門医研修単位認定学会情報
 - 海外学会情報
 - その他の学会開催情報
 - 研究助成
- 49 ACLS 講習会情報**
- 54 映像教材販売のご案内**
- 61 和文論文投稿誌「心臓」のご案内**
- 62 事務局からのお知らせ**
 - 登録事項変更届
 - 学会誌 Circulation Journal の送本について

**2014
No.3**

本誌の内容については、会員限定ホームページでご覧になれます。 <http://www.j-circ.or.jp/>

★次号2014 NO.4は、6月25日発行予定です。

第79回日本循環器学会学術集会 (JCS2015)

開催概要

会 期：2015年 4月24日(金)～26日(日)

会 長：小川 久雄(熊本大学大学院生命科学研究部循環器内科学, 国立循環器病研究センター)

会 場：大阪国際会議場, リーガロイヤルホテル

堂島リバーフォーラム, ABC ホール, グランフロント大阪

メインテーマ：日本から発信する最新の循環器病学

Late-Breaking Cardiovascular Medicine from Japan

1. 美甘レクチャー

Paul M Ridker (Brigham and Women's Hospital, Harvard Medical School, USA)

2. 真下記念講演

寒川 賢治(国立循環器病研究センター)

3. 特別講演

Hugh Grosvenor Calkins (The Johns Hopkins Hospital, USA)

Peter Carmeliet (Vesalius Research Center, Belgium)

C. Michael Gibson (Harvard Medical School, Beth Israel Deaconess Medical Center, USA)

John F. Keaney, Jr. (University of Massachusetts Medical School, USA)

Stephen Nicholls (The South Australian Health & Medical Research Institute, Australia)

John Rumsfeld (University of Colorado School of Medicine, USA)

John Shyy (University of California, USA)

Kenneth Walsh (Boston University School of Medicine, USA)

Thomas J. Wang (Vanderbilt University Medical Center, USA)

4. 会長講演

小川 久雄(熊本大学生命科学研究部循環器内科学, 国立循環器病研究センター)

5. 会長特別企画(予定)

(1) 血管機能および循環障害から見た冠動脈疾患の治療戦略 〈英語〉

国内座長：安田 聡(国立循環器病研究センター心臓血管内科部門)

海北 幸一(熊本大学生命科学研究部循環器内科学)

(2) 循環器疾患における先制医療：新しい画像診断とバイオマーカーの応用 〈日本語〉

国内座長：朔 啓二郎(福岡大学心臓・血管内科学講座)

斎藤 能彦(奈良県立医科大学第一内科)

(3) 大規模レジストリーの将来展望 〈日本語〉

国内座長：四津 良平(慶應義塾大学外科(心臓血管))

小川 久雄(熊本大学生命科学研究部循環器内科学)

(4) 本邦における新規抗血栓薬の新展開 〈日本語〉

国内座長：草野 研吾(国立循環器病研究センター心臓血管内科部門)

掃本 誠治(熊本大学生命科学研究部循環器内科学)

(5) 糖尿病合併の冠動脈疾患に対する治療戦略 〈日本語〉

国内座長：石原 正治(国立循環器病研究センター心臓血管内科部門)

小林順二郎(国立循環器病研究センター心臓血管外科部門)

- (6) 不整脈治療に対するアブレーション進歩 〈日本語〉
国内座長：山部 浩茂 (熊本大学循環内科不整脈先端医療講座)
中川 博 (Heart Rhythm Institute, University of Oklahoma, Health Sciences Center, USA)

6. プレナリーセッション

- (1) 動脈硬化研究の新展開：未知の治療ターゲットを求めて 【動脈硬化】〈英語〉
国内座長：平田 健一 (神戸大学循環器内科学)
- (2) 3次元・4次元・融合イメージングの臨床応用 【画像】〈英語〉
国内座長：木原 康樹 (広島大学循環器内科学)
- (3) わが国の循環器領域における TR/臨床試験の最前線 【EBM】〈日本語〉
国内座長：山崎 力 (東京大学臨床研究支援センター)
下川 宏明 (東北大学循環器内科学)
- (4) 大動脈弁膜症に対する新しい治療戦略 【弁膜症】〈英語〉
国内座長：澤 芳樹 (大阪大学心臓血管外科学)
- (5) 全身血管病管理から見た末梢動脈疾患へのアプローチ 【末梢循環】〈日本語〉
国内座長：横井 良明 (岸和田徳洲会病院循環器内科)
宮田 哲郎 (山王メディカルセンター)
- (6) 大動脈ステントグラフト治療と直達手術：遠隔成績を中心に 【大動脈疾患】〈日本語〉
国内座長：木村 剛 (京都大学循環器内科)
荻野 均 (東京医科大学外科学第二講座(心臓血管外科))
- (7) 循環器領域の交感神経・副交感神経へのデバイス治療にむけて：基礎から臨床への最先端 【その他】〈英語〉
国内座長：苅尾 七臣 (自治医科大学循環器内科学)
- (8) 心臓突然死への挑戦 【突然死】〈日本語〉
国内座長：堀江 稔 (滋賀医科大学内科学(循環器・呼吸器))
林 秀晴 (浜松医科大学第三内科)
- (9) 世界の潮流を見据えた日本型臨床研究のあり方とは？ 【新しい臨床研究の枠組み】〈日本語〉
国内座長：檜垣 實男 (愛媛大学病態情報内科学)
北風 政史 (国立循環器病研究センター心臓血管内科部門)

7. シンポジウム

- (1) 急性冠症候群の最先端の治療 —基礎と臨床— 【虚血】〈英語〉
国内座長：湊口 信也 (岐阜大学循環器内科)
- (2) 冠動脈疾患における至適抗血栓療法を考える 【虚血】〈日本語〉
国内座長：堀内 久徳 (東北大学加齢医学研究所基礎加齢研究)
木村 一雄 (横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター)
- (3) 機能的狭心症の診断と治療：冠攣縮, microvascular disease を考える 【虚血】〈日本語〉
国内座長：平山 篤志 (日本大学循環器内科)
赤阪 隆史 (和歌山県立医科大学循環器内科)
- (4) 動脈硬化の予防戦略：バイオマーカー，機能検査および画像の情報をどう活かすか 【動脈硬化】〈日本語〉
国内座長：代田 浩之 (順天堂大学循環器内科学)
倉林 正彦 (群馬大学臓器病態内科学)
- (5) 炎症と不整脈 【不整脈】〈英語〉
国内座長：青沼 和隆 (筑波大学循環器内科)
- (6) 不整脈研究の新展開 【不整脈】〈日本語〉
国内座長：新 博次 (日本医科大学循環器内科)
三田村秀雄 (立川病院)
- (7) 構造的な疾患に対する低侵襲治療 【心不全】〈英語〉
国内座長：安斉 俊久 (国立循環器病研究センター心臓血管内科部門)

- (8) 心不全治療の新展開 **【心不全】〈日本語〉**
国内座長：伊藤 宏（秋田大学循環器内科）
磯部 光章（東京医科歯科大学循環制御内科学）
- (9) 全身疾患としての心不全：他臓器との関連 **【心不全】〈英語〉**
国内座長：筒井 裕之（北海道大学循環病態内科学）
- (10) さらになる高血圧合併症の減少のために見直すべきリスク **【高血圧】〈日本語〉**
国内座長：光山 勝慶（熊本大学医学系生体機能薬理学）
平田 恭信（東京通信病院）
- (11) iPS細胞を用いた遺伝性心筋疾患の病態解析 **【再生】〈英語〉**
国内座長：福田 恵一（慶應義塾大学循環器内科）
- (12) 心筋性状・機能診断に画像を活かす：病理との対比 **【画像】〈日本語〉**
国内座長：伊藤 浩（岡山大学循環器内科）
浅田祐士郎（宮崎大学病理学第一講座）
- (13) WHO グローバル戦略から見た循環器病の予防・管理 **【予防】〈日本語〉**
国内座長：磯 博康（大阪大学公衆衛生学）
野出 孝一（佐賀大学循環器内科）
- (14) 循環器医療の費用対効果 **【医療政策】〈日本語〉**
国内座長：楠岡 英雄（大阪医療センター）
田倉 智之（大阪大学医療経済産業政策学）
- (15) 心疾患の妊娠と出産 —チーム管理の重要性—
State of Art: Pregnancy and Delivery in Cardiac disease (ESC database) **【先天性疾患】〈英語〉**
国内座長：丹羽公一郎（聖路加国際病院心血管センター循環器内科）
- (16) ACHDにおける右室の重要性とその特徴、診断、治療 —ACHDの心不全と右室—
State of Art: RV in ACHD: Andrew Redington (Toronto Sick kids) **【先天性疾患】〈英語〉**
国内座長：市田 路子（富山大学小児科）
- (17) 子育て世代の男性・女性循環器医のためのキャリア支援 **【女性プログラム】〈日本語〉**
国内座長：宮崎 俊一（近畿大学循環器内科）
上田真喜子（大阪市立大学病理病態学）
- (18) 肺高血圧診療の進歩 **【肺循環】〈英語〉**
国内座長：福本 義弘（久留米大学心臓血管内科）
- (19) 新規糖尿病薬の心血管イベント抑制作用への期待とエビデンス **【糖尿病】〈英語〉**
国内座長：室原 豊明（名古屋大学循環器内科）
- (20) 循環救急体制の構築とその成果 **【循環器救急】〈英語〉**
国内座長：長尾 建（駿河台日本大学病院循環器科蘇生・救急心血管治療）
- (21) 新しいモダリティを用いた心筋症診断法 —治療への展開— **【心筋症】〈英語〉**
国内座長：山岸 正和（金沢大学臓器機能制御学・循環器内科）
- (22) 次世代シーケンサーを用いた循環器疾患研究 **【ゲノム】〈英語〉**
国内座長：小室 一成（東京大学循環器内科学）
- (23) 循環器疾患に関連した地域連携の現況と展望 **【医療連携】〈日本語〉**
国内座長：百村 伸一（自治医科大学付属さいたま医療センター循環器科）
水野 杏一（三越厚生事業団）
- (24) 循環器病研究における医療開発政策：国民の期待にどう応えるか **【医療開発研究政策】〈日本語〉**
国内座長：永井 良三（自治医科大学）

8. ジョイントシンポジウム

- (1) AHA-JCS Joint Symposium
(2) ACC-JCS Joint Symposium
(3) ESC-JCS Joint Symposium
(4) KSC-JCS Joint Symposium

プレナリーセッション、シンポジウム公募演題募集要項

新規登録締切および修正締切が変更されています。ご留意下さい。

2014年7月14日(月)午前10:00～9月8日(月)午前6:00 新規登録締切(時間厳守)

9月9日(火)午前6:00 修正締切 (時間厳守)

※締切後は演題の登録、修正、削除などの操作は一切できません。

※午前6:00に登録(修正)途中の場合においても、登録(修正)完了できません。必ず午前6:00までに登録完了するよう、予めスケジュールをご確認下さい。

※締切直前はホームページへのアクセスが集中し、演題ページの動作が遅くなる場合があります。余裕をもってお早めにご応募頂きますようお願いいたします。

1. 今回のプレナリーセッション、シンポジウムは全セッション公募演題を募集します。応募される方は、本文(タイトル、著者名、所属機関名を除く)260 words 以内(図表を含む場合は170 words 以内)の英文抄録を、学術集会ホームページから演題登録用ページにアクセスして登録してください。
2. 新規演題登録は2014年7月14日(月)午前10:00より開始し、9月8日(月)午前6:00に締め切ります。翌日9月9日(木)午前6:00までは修正・削除が可能です。
3. プレナリーセッション、シンポジウム両セッションを通じて、応募できるのは一人につき1テーマのみです。
4. 定款施行細則第50条に則り、対象者は演題応募の時点で本学会正会員であり、かつ2014年度会費納入者であることが必要です。入会をご希望の方は、下記ホームページよりご入会の手続きをお願いいたします。なお、入会は、入会金2,000円および2014年度会費15,000円のお振込みをもって完了します。

(一社)日本循環器学会事務局

URL <http://www.j-circ.or.jp/form/nyukai.htm>

5. 日本循環器学会の臨床研究の利益相反(Conflict of Interest, COI と略す)に関する共通指針と細則に基づき、筆頭発表者は、配偶者、一親等の親族、生計を共にする者も含めて、当該演題発表に関して、「臨床研究に関連する企業、法人組織や営利を目的とした団体」との経済的な関係について過去1年間におけるCOI状態の有無を、抄録登録時に自己申告をしてください。また、筆頭発表者は該当するCOI状態について、発表スライドの最初(または演題・発表者などを紹介するスライドの次)に、あるいはポスターの最後に開示が必要となります。
6. 各プレナリーセッション、シンポジウムの座長による要旨(開催要旨)については、6月末までに学術集会ホームページのプログラムページにおいて公開いたします。また、日本循環器学会誌会告4号にも掲載されます。応募される方は、かならずご参照ください。
7. 国内の他学会または学会誌にて既に発表された演題と明らかに同一と会長が認めた演題は、演題採択の前後を問わず、取り消しとします。
8. 異なるカテゴリで同じ内容の演題が重複登録された場合は、採択演題発表の前後を問わず、いずれの演題も取り消します。
9. プレナリーセッション、シンポジウムの開催要領は原則として下記の通りです(ただし一部の日本語発表セッションを除く)。
 - 1) プレナリーセッション：
 - 招請外国人による講演(state-of-the-art)を行う。その後、招請外国人及び指定または公募通過者の計5名程度による発表。
 - 発表者は各専門領域における各自のデータに加え、現況と将来の方向について講演(オーバービュー)する。
 - 発表は一部日本語発表セッションを除き英語とする(同時通訳をつけます)。
 - 総合討論は行わない。
 - 2) シンポジウム：
 - 招請外国人による講演(keynote lecture)を行う。その後、招請外国人及び指定または公募通過者の計5名程度による発表。ただし一部の日本語発表セッションを除く。
 - 各自の最先端の研究について発表し、自由な討論を行う。

- 発表は一部日本語発表セッションを除き英語とする(同時通訳はつけません).
- 10. 演題の取り消しは, 会期初日の2カ月前(2015/1/21)までに連絡があった場合に限り受理します. 以後(2015/1/22~)については, 発表業績として取り扱うこととし, 取り消しは致しかねます.
- 11. 申し込み演題の採否結果は, 9月30日(火)夕刻までにE-mailでご連絡します.

ホームページ案内・一般演題応募要領

第79回日本循環器学会学術集会ホームページ <http://www.jcs2015.jp/> を開設致しました。演題応募や学術集会プログラム確認などにご利用ください。本会ホームページからもリンクしております。

一般演題応募要領

第79回日本循環器学会学術集会において研究発表を希望する方は、以下の申込要項に従って応募してください。

1. 演題登録サイト

演題登録は第79回日本循環器学会学術集会ホームページからのみ可能です。

<http://www.jcs2015.jp/>

演題登録の方法、注意事項はすべて演題登録用ページ上に掲載されます。ホームページ内に記載されている注意事項を確認のうえ登録してください。

2. 演題登録期間 新規登録締切および修正締切時間に変更されています。ご留意下さい。

2014年7月14日(月)午前10:00～10月14日(火)午前6:00 新規登録締切(時間厳守)

10月15日(水)午前6:00 修正締切 (時間厳守)

※締切後は演題の登録、修正、削除などの操作は一切できません。

※午前6:00に登録(修正)途中の場合においても、登録(修正)完了できません。必ず午前6:00までに登録完了するよう、予めスケジュールをご確認下さい。

※締切直前はホームページへのアクセスが集中し、演題ページの動作が遅くなる場合があります。余裕をもってお早めにご応募頂きますようお願いいたします。

7月14日(月)午前10:00から10月14日(火)午前6:00までは新規登録期間です。削除することも可能です。また翌日15日(水)午前6:00の修正締切りまでは演題の修正・削除ができます。締切り後は演題の登録、修正、削除等の操作は一切できません。なお、締切り直前はホームページへのアクセスが集中し、演題ページ動作が遅くなることが予想されますので、余裕をもってお早めにご応募くださるようお願いいたします。

ご使用になるコンピューター環境によってはホームページから登録できない可能性があります(例:ローカルネットへの外部からの侵入を防ぐためにファイアウォールが設定されている場合など)。ホームページから演題登録ができなかった場合でも特別な配慮は致しませんのでご注意ください。

3. 提出様式と発表形式

(1) 一般演題は、英文抄録で募集します。

(2) 抄録本文について

抄録本文(タイトル、著者名、所属機関名を除く)のワード数は220 words 以内とします。図表を含むこともできますが、GIF または JPEG 形式で10M バイト以下のもの1つに限ります(縦長、横長いずれでも可。約6×4cmに縮小して掲載します)。図表を含む場合には本文のワード数は130words 以内となります。

(3) 演題登録番号およびパスワード

演題を登録する際に、演題登録番号が自動的に割り当てられ、任意のパスワードを決めていただきます。演題登録番号とパスワードにて登録内容を何回でも変更することができます。パスワードの保存とその機密保持に関しては登録者の管理といたします。演題登録番号およびパスワードは登録演題内容の変更のほか、受領確認、採否確認にも必要ですので必ず記録しておいてください。パスワードを紛失した場合でも、セキュリティの関係から問い合わせには一切応じられませんのでご注意ください。

(4) 応募時に、発表言語については「英語」「日本語または英語のどちらでもよい」のどちらかひとつを選択していただきます。

(5) 発表形式についても、口述またはポスターを選択できます。

(6) 一般演題の発表形式は、以下のように分けられます。

- ① Featured Research Session(英語発表希望者抄録のうち比較的高得点の演題から構成する)
- ② 一般口述発表(発表希望言語により日本語または英語セッションに分ける)
- ③ ポスター発表(発表希望言語により日本語または英語セッションに分ける)
- (7) 発表言語は、原則として、応募時の希望通りとします。ただし、発表形式(口述またはポスター)については最終的に学術集会事務局が調整、決定させていただきます。
- (8) なお、受理された抄録の演題名、所属、著者名、抄録本文については、投稿時のデータがそのまま抄録集に掲載されます。登録の際には、ホームページ上の注意事項をよく参照の上、入力してください。
- (9) 筆頭著者、共著者とも会員番号をご入力いただきます。誤った会員番号を入力しますと年会費の請求が生じる場合がありますのでご注意ください。なお、会員番号がご不明の際は、必ず(一社)日本循環器学会事務局までお問い合わせください。
- (10) 抄録集にキーワード別検索のインデックスページを設けますので、正確なキーワードを選択してください。

4. 国内演者の応募資格

定款施行細則第50条に則り、対象者は演題応募の時点で本学会正会員であり、かつ2014年度会費納入者であることが必要です。入会をご希望の方は、下記ホームページよりご入会の手続きをお願いいたします。なお、入会は、入会金2,000円および2014年度会費15,000円のお振込みをもって完了します。

(一社)日本循環器学会事務局
URL <http://www.j-circ.or.jp/form/nyukai.htm>

5. 臨床研究の利益相反(Conflict of Interest, COI と略す)について

日本循環器学会の臨床研究の利益相反(Conflict of Interest, COI と略す)に関する共通指針と細則に基づき、筆頭発表者は、配偶者、一親等の親族、生計を共にする者も含めて、当該演題発表に関して、「臨床研究に関連する企業、法人組織や営利を目的とした団体」との経済的な関係について過去1年間におけるCOI状態の有無を、抄録登録時に自己申告をしてください。また、筆頭発表者は該当するCOI状態について、発表スライドの最初(または演題・発表者などを紹介するスライドの次)に、あるいはポスターの最後に開示が必要となります。

6. 注意事項

- (1) 同一筆頭演者の演題登録は10題以下とします。11題以上の登録があった場合は、全ての登録演題を取り消します。
- (2) 国内の他学会または学会誌にて既に発表された演題と明らかに同一と認めた演題は、演題採択の前後を問わず、取り消しとします。
- (3) 異なるカテゴリで同じ内容の演題が重複登録された場合は、採択演題発表の前後を問わず、いずれの演題も取り消します。
- (4) 演題の取り消しは、会期初日の2ヶ月前(2015年2月23日)までに連絡があった場合に限り受理します。以後(2015年2月24日～)については、発表業績として取り扱うこととし、取り消しは致しかねます。
- (5) 演題登録に関する問い合わせ
別便で郵送が必要なものではありません。ホームページによる演題登録に関するお問い合わせは、(一社)日本循環器学会事務局までE-mail またはFaxにてご連絡ください。

(一社)日本循環器学会事務局
担当：学術集会グループ
E-mail: meeting@j-circ.or.jp
Tel: 03-5501-0862 Fax: 03-5501-9855

7. 演題受領通知および演題採否通知

演題受領通知、並びに演題採否通知のはがきは送付いたしません。演題受領の有無は学会ホームページの演題登録画面にて、演題登録番号、パスワードを入力してご確認ください。ただし、演題登録時にE-mailア

ドレスを入力された方には E-mail でも受領通知が届きます。

採択された演題は、2014年12月22日(月)正午に登録番号、採択演題名、筆頭演者名をホームページでカテゴリー別に掲示しますので、各自ご確認ください。

8. 演題の採否決定

申込演題の採否は会長が委嘱する査読者の採点に基づいて会長が決定します。

Late Breaking Clinical Trials 演題募集要項

1. 演題応募方法

第79回日本循環器学会学術集会では、セッション「Late Breaking Clinical Trials」(公募・一部指定)を開催いたします。演題応募される方は、第79回日本循環器学会学術集会ホームページ(<http://www.jcs2015.jp/>)から演題登録用ページにアクセスして登録してください。

2. 演題募集期間

2014年9月8日(月)午前10:00～11月25日(火)17:00 必着(時間厳守)

※締切後は演題の登録、修正、削除などの操作は一切できません。

※17:00に登録(修正)途中の場合においても、登録(修正)完了できません。必ず17:00までに登録完了するよう、予めスケジュールをご確認下さい。

※締切直前はホームページへのアクセスが集中し、演題ページの動作が遅くなる場合があります。余裕をもってお早めにご応募頂きますようお願いいたします。

3. 応募内容

ここでいう Clinical Trial とは、ヒトを対象とする医学研究で、予防、診断または治療法に関する介入試験を指します。医薬品又は医療機器を用いた介入が主体ですが、それ以外の食事・運動・リハビリ等による介入も含むことにいたします。例として、薬剤を用いたランダム化比較試験などが挙げられます。介入のない前向き観察研究は、Cohort Study で扱います。

応募内容は、本学会で初めて結果を公表されるもので、かつ他の学会に発表または応募をされていない Clinical Trial を最優先いたします。ただし、既に発表されたものであっても、本学会で改めて発表を希望される Trial につきましても採択を考慮いたしますので、奮ってご応募ください。

4. 抄録内容

抄録の内容は、今回初めて発表される場合は、背景、目的、方法、デザイン等のみで結構です。結果や結論は記載する必要はありません。

5. 提出様式

英文抄録を募集します。抄録本文(タイトル、著者名、所属機関名を除く)のワード数は260 words 以内、タイトルのワード数は20 words 以内とします。図表を含むこともできますが、GIF または JPEG 形式で10M バイト以下のもの1つに限り(縦長、横長いずれでも可。約6×4cm に縮小して掲載します)。図表を含む場合には本文のワード数は170 words 以内とします。なお、受理された抄録の演題名、所属、著者名、抄録本文については、投稿時のデータがそのまま抄録集に掲載されます。登録の際には、演題登録ページ中の注意事項をよくご参照の上、入力してください。

6. 応募資格・条件

定款施行細則第50条に則り、対象者は演題応募の時点で本学会正会員であり、かつ2014年度会費納入者であることが必要です。入会をご希望の方は、下記ホームページよりご入会の手続きをお願いいたします。なお、入会は、入会金2,000円および2014年度会費15,000円のお振込みをもって完了します。

(一社)日本循環器学会事務局

URL <http://www.j-circ.or.jp/form/nyukai.htm>

ただし、臨床試験実施参加者は必ずしも会員である必要はありません。

また、採択演題の中から編集委員会の選考を経た数件の研究に対して、Circulation Journal への論文投稿を依頼することとなります。Late Breaking Clinical Trials の演題応募に際しては、抄録が編集委員会の選考資料となることにご同意いただいたものとさせていただきますので、ご了承ください。なお Circulation

Journal への投稿は任意であり、ご辞退されても演題採択結果には影響いたしません。

7. 臨床研究の利益相反 (Conflict of Interest, COI と略す) について

日本循環器学会の臨床研究の利益相反 (Conflict of Interest, COI と略す) に関する共通指針と細則に基づき、筆頭発表者は、配偶者、一親等の親族、生計を共にする者も含めて、当該演題発表に関して、「臨床研究に関連する企業、法人組織や営利を目的とした団体」との経済的な関係について過去1年間におけるCOI状態の有無を、抄録登録時に自己申告をしてください。また、筆頭発表者は該当するCOI状態について、発表スライドの最初(または演題・発表者などを紹介するスライドの次)に、あるいはポスターの最後に開示が必要となります。

8. 採否通知

採択演題は2015年1月中旬までにE-mailにてご連絡いたします。

9. 開催要領および発表形式

開催要領・発表形式は後日発表いたします。

10. その他

- 演者・共同演者はCOIには十分ご注意ください。
- 演題の取り消しは、会期初日の2ヶ月前(2015年2月23日)までに連絡があった場合に限り受理します。以後(2015年2月24日～)については、発表業績として取り扱うこととし、取り消しは致しかねます。

Late Breaking Cohort Studies 演題募集要項

1. 演題応募方法

第79回日本循環器学会学術集会では、セッション「Late Breaking Cohort Studies」を開催いたします。演題応募される方は、第79回日本循環器学会学術集会ホームページ(<http://www.jcs2015.jp/>)から演題登録用ページにアクセスして登録してください。

2. 演題募集期間

2014年9月8日(月)午前10:00～11月25日(火)17:00 必着(時間厳守)

※締切後は演題の登録、修正、削除などの操作は一切できません。

※17:00に登録(修正)途中の場合においても、登録(修正)完了できません。必ず17:00までに登録完了するよう、予めスケジュールをご確認下さい。

※締切直前はホームページへのアクセスが集中し、演題ページの動作が遅くなる場合があります。余裕をもってお早めにご応募頂きますようお願いいたします。

3. 応募内容

ここでいう Cohort Study とは、前向き of 疫学研究を指します。地域や職域集団を追跡する研究のみだけでなく、医療機関において特定の疾患群や治療群をレジストリ登録し、イベントの発生とその要因の関係を前向きに調べる観察研究もここで扱うことにいたします。

応募内容は、本学会で初めて結果を公表されるもので、かつ他の学会に発表または応募をされていない Cohort Study を最優先いたします。ただし、既に発表されたものであっても、本学会で改めて発表を希望される Study につきましても採択を考慮いたしますので、奮ってご応募ください。

4. 抄録内容

抄録の内容は、今回初めて発表される場合は、背景、目的、方法デザイン等のみで結構です。結果や結論は記載する必要はありません。

5. 提出様式

英文抄録を募集します。抄録本文(タイトル、著者名、所属機関名を除く)のワード数は260 words 以内、タイトルのワード数は20 words 以内とします。図表を含むこともできますが、GIF または JPEG 形式で10M バイト以下のもの1つに限り(縦長、横長いずれでも可。約6×4cm に縮小して掲載します)。図表を含む場合には本文のワード数は170words 以内とします。なお、受理された抄録の演題名、所属、著者名、抄録本文については、投稿時のデータがそのまま抄録集に掲載されます。登録の際には、演題登録ページ中の注意事項をよくご参照の上、入力してください。

6. 応募資格・条件

定款施行細則第50条に則り、対象者は演題応募の時点で本学会正会員であり、かつ2014年度会費納入者であることが必要です。入会をご希望の方は、下記ホームページよりご入会の手続きをお願いいたします。なお、入会は、入会金2,000円および2014年度会費15,000円のお振込みをもって完了します。

(一社)日本循環器学会事務局

URL <http://www.j-circ.or.jp/form/nyukai.htm>

ただし、臨床試験実施参加者は必ずしも会員である必要はありません。

また、採択演題の中から編集委員会の選考を経た数件の研究に対して、Circulation Journal への論文投稿を依頼することとなります。Late Breaking Cohort Studies の演題応募に際しては、抄録が編集委員会の選考資料となることにご同意いただいたものとさせていただきますので、ご了承ください。なお Circulation Journal への投稿は任意であり、ご辞退されても演題採択結果には影響いたしません。

7. 臨床研究の利益相反 (Conflict of Interest, COI と略す) について

日本循環器学会の臨床研究の利益相反 (Conflict of Interest, COI と略す) に関する共通指針と細則に基づき、筆頭発表者は、配偶者、一親等の親族、生計を共にする者も含めて、当該演題発表に関して、「臨床研究に関連する企業、法人組織や営利を目的とした団体」との経済的な関係について過去1年間におけるCOI状態の有無を、抄録登録時に自己申告をしてください。また、筆頭発表者は該当するCOI状態について、発表スライドの最初(または演題・発表者などを紹介するスライドの次)に、あるいはポスターの最後に開示が必要となります。

8. 採否通知

採択演題は12月中旬に E-mail にてご連絡いたします。

9. 開催要領および発表形式

開催要領・発表形式は後日発表いたします。

10. その他

- 演者・共同演者は Conflict of Interests には十分ご注意ください。
- 演題の取り消しは、会期初日の2ヶ月前(2015年2月23日)までに連絡があった場合に限り受理します。以後(2015年2月24日～)については、発表業績として取り扱うとし、取り消しは致しかねます。

学会賞応募要領

日本心臓財団佐藤賞募集要領

●趣 旨

国民死因の首位を占める心臓血管病の制圧を目指す財団法人日本心臓財団では、わが国の心臓病学の発展を願い、日本循環器学会の協力を得て、昭和49年5月に逝去された故佐藤喜一郎初代会長を追悼記念する「日本心臓財団 佐藤賞」を設け、斯学の発展に寄与する。

●対 象

本賞は、近年日本において循環器領域で顕著な業績を上げ、今後もこの分野で中心的な役割を果たすことが期待される研究者1名に対し授与する。

●応募資格

1. 近年(過去5年間)において、その一連の研究成果が顕著であったことが研究論文等の業績において明らかであり、循環器学に対するこれまでの貢献が顕著と認められる者。
2. 申請時において、継続して7年以上会費を完納した日本循環器学会会員(正会員または準会員)である者。
3. 2015年3月31日現在において50歳未満であり、今後、循環器領域で指導的立場を担う研究者である者。
4. 当会が募集する他の学会賞への応募と重複しないこと。
(内容が完全に異なる場合は、複数の学会賞への応募可能。一連の研究の一部を分割した場合、サブ解析は同論文と捉え、複数の学会賞への応募はできない。)
5. 未受賞の論文(研究)のみを対象とする。国内外問わず一度受賞した論文(研究)は応募できない。
6. 応募は1施設(教室)から1名とする。

●選考方法

佐藤賞選考委員会による書類選考

●応募方法と提出書類

1. 施設主任(教授相当)により、1名の推薦を受け付ける。(自薦も可)
2. 次の①②を所定の形式で、③④を任意の形式でそれぞれ作成し、①～⑤の全書類を原本1部とコピー9部の計10部ずつをホッチキス・クリップ止めせずに、本会事務局に送付すること。なお、応募書類は返却しない。
 ①推薦書(所定用紙)：候補者の研究主題と1,000字以内の推薦理由を記入。
 ②履歴書(所定用紙)
 ③研究テーマの要約：2,000字以内に研究主題に関する業績を要約。
 ④業績目録
 ⑤研究主題と関連した主たる論文3編の別冊。
 ※①②については、第79回日本循環器学会ホームページ「学会賞」の「佐藤賞募集要領」からダウンロードしてください。

●選考結果の通知

2014年12月中旬頃

●選考発表(授賞式)

第79回日本循環器学会学術集会において、選考結果を公表し、賞の贈呈を行う。

●そ の 他

賞…賞牌および副賞100万円

受賞講演…その業績について、第79回日本循環器学会学術集会に受賞講演(英語)を行い、日本循環器学会誌(Circulation Journal)に総説を執筆する。

募集締切

2014年9月19日(金)17時必着

お問い合わせ先・送付先

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-1 帝国ホテルタワー18F

(一社)日本循環器学会(JCS)事務局：

第79回日本循環器学会学術集会(佐藤賞)

担当：学術集会グループ

Young Investigator's Award 候補論文募集要領

(Basic Research 部門, Clinical Research 部門)

●趣 旨

日本循環器学会では、独創的な研究の奨励と若手研究者の育成を目的として、「日本循環器学会 Young Investigator's Award」を設け、毎年度の優秀論文を顕彰する。

●対 象

1. 国内で行われた循環器学に関する基礎的及び臨床的研究であること。
2. 2014年9月末日(応募締切日)までに印刷・online で公表されていない原著論文であること。
3. 応募者がその研究の着想および遂行に重要な役割を果たしたものであること。
4. 未受賞の論文(研究)のみを対象とする。国内外問わず一度受賞した論文(研究)は応募できない。
5. first author であること。

●応募資格

1. 日本循環器学会会員(正会員または準会員)であること。
2. 2015年3月31日現在満40歳未満の者。
3. 当会が募集する他の学会賞への応募と重複しないこと。
(内容が完全に異なる場合は、複数の学会賞への応募可能。一連の研究の一部を分割した場合、サブ解析は同論文と捉え、複数の学会賞への応募はできない。)
4. 1施設(教室)からの複数応募は本賞に限り妨げない。

●選考方法

1. 第一次審査…Young Investigator's Award Basic Research, Clinical Research 各選考委員会の書類選考
2. 第二次審査…学術集会における口述発表(英語)
3. 最終審査…口述発表者の中から Basic Research 部門, Clinical Research 部門, 最優秀賞1名および優秀賞3名を各々決定する。

●応募方法と提出書類

次の②を所定の形式で、①③④を任意の形式でそれぞれ作成し、全書類を原本1部とコピー7部の計8部ずつホッチキス・クリップ止めをせずに本会事務局宛に送付すること。

なお、応募書類は返却しない。

①英文原著論文

②履歴書(Basic Research 部門, Clinical Research 部門 各所定用紙)

③過去5年の英文論文業績目録

④応募研究において応募者が果たした役割について研究指導責任者の証明書

※②については、第79回日本循環器学会ホームページ「学会賞」の「Young Investigator's Award 募集要領」からダウンロードしてください。

●第一次選考結果の通知

2014年12月中旬頃

●選考発表(授賞式)

第79回日本循環器学会学術集会において、選考結果を公表し、賞の贈呈を行う。

●そ の 他

賞…賞状および奨励金(総額150万円)

募集締切

2014年9月19日(金)17時必着

お問い合わせ先・送付先

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-1 帝国ホテルタワー18F

(一社)日本循環器学会(JCS)事務局:

第79回日本循環器学会学術集会(Young Investigator's Award)

担当：学術集会グループ
TEL. 03-5501-0862 FAX. 03-5501-9855
E-mail: meeting@j-circ.or.jp

日本循環器学会 CPIS 賞募集要領

●趣 旨

日本循環器学会は1989年に京都にて開催された、第3回心臓血管薬物療法国際会議(Cardiovascular Pharmacotherapy International Symposium, CPIS 会長：河合忠一)を記念し、わが国の循環器学とくに循環器病薬物療法の発展を願って寄付された基金をもとに「日本循環器学会 CPIS 賞」を設け、毎年度の優秀論文を顕彰する。

●対 象

1. 国内外を問わず行われた循環器学における薬物療法に関する研究論文であること。
2. 応募論文は、この1年間(締切日より過去1年間)に発表(online 含む)または投稿中のものであること。
3. 未受賞の論文(研究)のみを対象とする。国内外問わず一度受賞した論文(研究)は応募できない。
4. first author であること。

●応募資格

1. 日本循環器学会会員(正会員または準会員)であること。
2. 2015年3月31日現在40歳未満の者。
3. 当会が募集する他の学会賞への応募と重複しないこと。
(内容が完全に異なる場合は、複数の学会賞への応募可能。一連の研究の一部を分割した場合、サブ解析は同論文と捉え、複数の学会賞への応募はできない。)
4. 応募は1施設(教室)から1名とする。

●選考方法

CPIS 賞選考委員会の書類選考による。受賞者は毎年1名とする。

●応募方法と提出書類

次の②を所定の形式で、①③を任意の形式でそれぞれ作成し、全書類を原本1部とコピー7部の計8部ずつをホッチキス・クリップ止めせずに、本会事務局宛に送付すること。

なお、応募書類は返却しない。

- ①英文原著論文
- ②履歴書(所定用紙)
- ③過去5年の英文論文業績目録

※②については、第79回日本循環器学会ホームページ「学会賞」の「CPIS 賞募集要領」からダウンロードしてください。

●選考結果の通知

2014年12月中旬頃

●選考発表(授賞式)

第79回日本循環器学会学術集会において、選考結果を公表し、賞の贈呈を行う。

●そ の 他

賞…賞状および副賞(50万円)

募集締切

2014年9月19日(金)17時必着

お問い合わせ先・送付先

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-1 帝国ホテルタワー18F

(一社)日本循環器学会(JCS)事務局：

第79回日本循環器学会学術集会(CPIS 賞)

担当：学術集会グループ

TEL. 03-5501-0862 FAX. 03-5501-9855

E-mail: meeting@j-circ.or.jp

国際留学生 Young Investigator's Award 募集要領

●趣 旨

日本循環器学会国際交流委員会では、日本へ留学して循環器学領域で研究を行っている若手研究者を対象として、日本循環器学会総会において国際留学生 Young Investigator's Award を贈呈する。

●応募資格

1. 日本国以外の国籍を有し、外国の大学を卒業後日本に留学し、2015年3月31日現在で留学期間が7年未満の者。
2. 申請時において日本循環器学会会員(正会員または準会員)であり、会費を完納していること。
3. 2015年3月31日現在で満40歳未満の者。
4. 第79回日本循環器学会当日に口述発表(英語)ができること。
5. 他の学会賞への応募と重複しないこと。
6. 過去に本賞の最優秀賞を受賞していないこと。

●対 象

日本国内で行われた循環器学に関する基礎的あるいは臨床的研究で、2014年9月末日までに印刷公表されていない研究。ただし、応募者がその研究の着想及び遂行に重要な役割を果たしたものであることを必要とする。

●応募方法

以下の書類5点を作成すること。5点いずれも書式は自由であるが各書類はA4一枚にまとめること。原本1部とコピー14部を簡易書留郵便で本会事務局宛に送付すること。なお、応募書類は返却しない。

- ①英文抄録(題名・氏名・所属名を除いて本文220語以内)
- ②図表(一枚にいくつの図表を記載しても可)
- ③図表の説明(②の説明)
- ④資格証明書(研究指導者による、応募者が応募資格に該当する旨の証明)
- ⑤英文履歴書(会員番号を記入すること)

●選考方法

国際留学生 Young Investigator's Award 選考委員会の書類選考による第一次審査と学術集会における口述発表の第二次審査とする。受賞者は最優秀賞1名および優秀賞3～4名とする。

●結果通知

第一次審査結果は郵送により応募者に通知する。第二次審査結果は第79回日本循環器学会学術集会授賞式において発表し、賞の贈呈を行う。

応募締切

2014年9月19日(金)必着

お問い合わせ先・送付先

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-1 帝国ホテルタワー18F

(一社)日本循環器学会(JCS)事務局:

第79回日本循環器学会学術集会(Young Investigator's Award)

担当:学術集会グループ

TEL. 03-5501-0862 FAX. 03-5501-9855

E-mail: international@j-circ.or.jp

日本循環器学会循環器再生医科学賞募集要領

(臨床研究部門, 基礎研究部門)

●趣 旨

日本循環器学会は、2006年に名古屋で開催された第70回記念日本循環器学会学術集会(会長:藤原久義)の基金をもとに21世紀医学の中心的テーマの1つである再生医科学の領域において、「日本循環器学会循環器再生医科学賞」を設けて毎年度の優秀論文を顕彰する。

●対 象

1. 国内外を問わず、再生医療の臨床及び基礎研究に貢献した研究者であること。

2. 応募論文は、この1年間(締切日より過去1年間)に発表(online 含む)または投稿中であること。
3. 未受賞の論文(研究)のみを対象とする。国内外問わず一度受賞した論文(研究)は応募できない。
4. first author であること。

●**応募資格**

1. 申請時において日本循環器学会会員(正会員または準会員)であること。
2. 当会が募集する他の学会賞への応募と重複しないこと。
(内容が完全に異なる場合は、複数の学会賞への応募可能。一連の研究の一部を分割した場合、サブ解析は同論文と捉え、複数の学会賞への応募はできない。)
3. 応募は1施設(教室)から1名とする。
(臨床研究と基礎研究を合わせて1施設、よって1施設からは1名の応募のみとする)

●**選考方法**

循環器再生医科学賞選考委員会の書類選考による。受賞者は毎年、基礎研究部門1名、臨床研究部門1名の合計2名とする。

●**応募方法と提出書類**

次の②を所定の形式で、①③④を任意の形式でそれぞれ作成し、全書類を原本1部とコピー9部の計10部ずつをホッチキス・クリップ止めせずに、本会事務局宛に送付すること。なお、応募書類は返却しない。

- ①英文原著論文
- ②履歴書(基礎研究部門、臨床研究部門各所定用紙)
- ③過去5年の英文論文業績目録
- ④応募研究において応募者が果たした役割について研究指導責任者の証明書

※②については、第79回日本循環器学会ホームページ「学会賞」の「再生医科学賞募集要領」からダウンロードしてください。

●**選考結果の通知**

2014年12月中旬頃

●**選考発表(授賞式)**

第79回日本循環器学会学術集会において、選考結果を公表し、賞の贈呈を行う。

●**そ の 他**

賞…賞状および副賞(総額100万円)

募集締切

2014年9月19日(金)17時必着

お問い合わせ先・送付先

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-1 帝国ホテルタワー18F

(一社)日本循環器学会(JCS)事務局:

第79回日本循環器学会学術集会(循環器再生医科学賞)

担当:学術集会グループ

TEL. 03-5501-0862 FAX. 03-5501-9855

E-mail: meeting@j-circ.or.jp

日本循環器学会心臓血管外科賞募集要領

●**趣 旨**

日本循環器学会では、第70回記念日本循環器学会学術集会を記念して、「日本循環器学会心臓血管外科賞」を設け、毎年度の優秀論文を顕彰する。

●**対 象**

1. 国内外を問わず、心臓血管外科の臨床に貢献した研究者であること。
2. 応募論文は、この1年間(締切日より過去1年間)に発表(online 含む)または投稿中であること。
3. 未受賞の論文(研究)のみを対象とする。国内外問わず一度受賞した論文(研究)は応募できない。
4. first author であること。

●**応募資格**

1. 申請時において日本循環器学会会員(正会員または準会員)であること。

2. 2015年3月31日現在40歳未満の者。
3. 当会が募集する他の学会賞への応募と重複しないこと。
(内容が完全に異なる場合は、複数の学会賞への応募可能。一連の研究の一部を分割した場合、サブ解析は同論文と捉え、複数の学会賞への応募はできない。)
4. 応募は1施設(教室)から1名とする。

●**選考方法**

心臓血管外科賞選考委員会の書類選考による。受賞者は毎年1名とする。

●**応募方法と提出書類**

次の②を所定の形式で、①③④を任意の形式でそれぞれ作成し、全書類を原本1部とコピー9部の計10部ずつをホッチキス・クリップ止めせずに、本会事務局宛に送付すること。なお、応募書類は返却しない。

- ①英文原著論文
- ②履歴書(所定用紙)
- ③過去5年の英文論文業績目録
- ④応募研究において応募者が果たした役割について研究指導責任者の証明書

※②については、第79回日本循環器学会ホームページ「学会賞」の「心臓血管外科賞募集要領」からダウンロードしてください。

●**選考結果の通知**

2014年12月中旬頃

●**選考発表(授賞式)**

第79回日本循環器学会学術集会において、選考結果を公表し、賞の贈呈を行う。

●**その他**

賞…賞状および副賞(30万円)

募集締切

2014年9月19日(金)17時必着

お問い合わせ先・送付先

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-1 帝国ホテルタワー18F

(一社)日本循環器学会(JCS)事務局：

第79回日本循環器学会学術集会(心臓血管外科賞)

担当：学術集会グループ

TEL. 03-5501-0862 FAX. 03-5501-9855

E-mail: meeting@j-circ.or.jp

日本循環器学会小児循環器賞募集要領

●**趣 旨**

日本循環器学会では、第70回記念日本循環器学会学術集会を記念して、「日本循環器学会小児循環器賞」を設け、毎年度の優秀論文を顕彰する。

●**対 象**

1. 国内外を問わず、小児循環器の臨床に貢献した研究者であること。
2. 応募論文は、この1年間(締切日より過去1年間)に発表(online 含む)または投稿中であること。
3. 未受賞の論文(研究)のみを対象とする。国内外問わず一度受賞した論文(研究)は応募できない。
4. first author であること。

●**応募資格**

1. 申請時において日本循環器学会会員(正会員または準会員)であること。
2. 2015年3月31日現在40歳未満の者。
3. 当会が募集する他の学会賞への応募と重複しないこと。
(内容が完全に異なる場合は、複数の学会賞への応募可能。一連の研究の一部を分割した場合、サブ解析は同論文と捉え、複数の学会賞への応募はできない。)
4. 応募は1施設(教室)から1名とする。

●選考方法

小児循環器賞選考委員会の書類選考による。受賞者は毎年1名とする。

●応募方法と提出書類

次の②を所定の形式で、①③④を任意の形式でそれぞれ作成し、全書類を原本1部とコピー9部の計10部ずつをホッチキス・クリップ止めせずに、本会事務局宛に送付すること。なお、応募書類は返却しない。

①英文原著論文

②履歴書(所定用紙)

③過去5年の英文論文業績目録

④応募研究において応募者が果たした役割について研究指導責任者の証明書

※②については、第79回日本循環器学会ホームページ「学会賞」の「小児循環器賞募集要領」からダウンロードしてください。

●選考結果の通知

2014年12月中旬頃

●選考発表(授賞式)

第79回日本循環器学会学術集会において、選考結果を公表し、賞の贈呈を行う。

●その他

賞…賞状および副賞(30万円)

募集締切

2014年9月19日(金)17時必着

お問い合わせ先・送付先

〒100-0011 東京都千代田区千代田1-1-1 帝国ホテルタワー18F

(一社)日本循環器学会(JCS)事務局:

第79回日本循環器学会学術集会(小児循環器賞)

担当:学術集会グループ

TEL. 03-5501-0862 FAX. 03-5501-9855

E-mail: meeting@j-circ.or.jp

女性研究者奨励賞募集要領

●趣 旨

日本循環器学会は、2007年に神戸で開催された第71回日本循環器学会学術集会(会長:横山光宏)を記念し、循環器の分野で活躍する女性研究者の支援となることを願って、「女性研究者奨励賞」を設けて毎年度の優秀論文を顕彰する。

●対 象

1. 国内外を問わず、循環器の臨床及び基礎研究に貢献した女性研究者であること。
2. 応募論文は、この1年間(締切日より過去1年間)に発表(online含む)または投稿中であること。
3. 未受賞の論文(研究)のみを対象とする。国内外問わず一度受賞した論文(研究)は応募できない。
4. first author であること。

●応募資格

1. 申請時において日本循環器学会の女性会員(正会員または準会員)であること。
2. 当会が募集する他の学会賞への応募と重複しないこと。
(内容が完全に異なる場合は、複数の学会賞への応募可能。一連の研究の一部を分割した場合、サブ解析は同論文と捉え、複数の学会賞への応募はできない。)
3. 応募は1施設(教室)から1名とする。

●選考方法

女性研究者奨励賞選考委員会の書類選考による。受賞者は毎年1名とする。

●応募方法と提出書類

次の②を所定の形式で、①③④を任意の形式でそれぞれ作成し、全書類を原本1部とコピー9部の計10部ずつをホッチキス・クリップ止めせずに、本会事務局宛に送付すること。なお、応募書類は返却しない。

①英文原著論文

- ②履歴書(所定用紙)
- ③過去5年の英文論文業績目録
- ④2,000字以内の研究業績の要約

※②については、第79回日本循環器学会ホームページ「学会賞」の「女性研究者奨励賞募集要領」からダウンロードしてください。

●選考結果の通知

2014年12月中旬頃

●選考発表(授賞式)

第79回日本循環器学会学術集会において、選考結果を公表し、賞の贈呈を行う。

●その他

賞…賞状および副賞(50万円)

募集締切

2014年9月19日(金)17時必着

お問い合わせ先・送付先

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-1 帝国ホテルタワー18F

(一社)日本循環器学会(JCS)事務局:

第79回日本循環器学会学術集会(女性研究者奨励賞)

担当:学術集会グループ

TEL. 03-5501-0862 FAX. 03-5501-9855

E-mail: meeting@j-circ.or.jp

日本循環器学会循環器臨床研究奨励賞募集要領

(臨床研究部門、症例報告部門)

●趣 旨

日本循環器学会は、2011年に京都で開催された第74回日本循環器学会学術集会(会長:北 徹)を記念し、わが国の循環器学、特に循環器疾患に関する臨床医学の発展を願って「循環器臨床研究奨励賞」を設ける。本賞は、臨床研究部門と症例報告部門にわけ、それぞれ表彰する。

【臨床研究部門】

●対 象

1. 国内外を問わず、主体的に行った循環器病分野における一連の10年以内の研究論文1～3編を評価する。
First Author に限定しない。

●応募資格

1. 日本循環器学会会員(正会員または準会員)であること。
2. 2015年3月31日現在50歳以下の者。
3. 当会が募集する他の学会賞への応募と重複しないこと。
(内容が完全に異なる場合は、複数の学会賞への応募可能。一連の研究の一部を分割した場合、サブ解析は同論文と捉え、複数の学会賞への応募はできない。)
4. 応募は1施設(教室)から1名とする。

●選考方法

循環器臨床研究奨励賞選考委員会の書類選考による。受賞者は毎年「臨床研究部門」1名とする。

●応募方法と提出書類

次の②を所定の形式で、①③を任意の形式でそれぞれ作成し、全書類を原本1部とコピー9部の計10部ずつをホッチキス・クリップ止めせずに、本会事務局宛に送付すること。

なお、応募書類は返却しない。

- ①英文文原著論文(1～3編)
- ②履歴書(所定用紙)
- ③過去5年の英文論文業績目録
- ④研究主題と主題の要約:1,000字以内に研究主題に関する業績を要約

※②については、第79回日本循環器学会ホームページ「学会賞」の「循環器臨床研究奨励賞募集要領」からダウンロードしてください。

●選考結果の通知

2014年12月中旬頃

●選考発表(授賞式)

第79回日本循環器学会学術集会において、選考結果を公表し、賞の贈呈を行う。

●その他

賞…賞状および副賞(臨床研究部門100万円×1名)

●採点項目

「オリジナリティ・クオリティ・循環器臨床への貢献度」の3項目について、各5点満点(最低1点～最高5点)で採点を行う。

募集締切

2014年9月19日(金)17時必着

【症例報告部門】

●対象

国内外を問わず、この1年間(発刊日が締切日より過去1年間、in pressの場合は受理証明書を提出)に筆頭著者として論文発表した循環器病分野における症例報告論文1編を評価する。

●応募資格

1. 日本循環器学会会員(正会員または準会員)であること。
2. 2015年3月31日現在40歳以下の者。
3. 当会が募集する他の学会賞への応募と重複しないこと。
(内容が完全に異なる場合は、複数の学会賞への応募可能。一連の研究の一部を分割した場合、サブ解析は同論文と捉え、複数の学会賞への応募はできない。)
4. 応募は1施設(教室)から1名とする。

●選考方法

循環器臨床研究奨励賞選考委員会の書類選考による。受賞者は毎年「症例報告部門」最優秀賞1名、優秀賞2名とする。

●応募方法と提出書類

次の②を所定の形式で、①③を任意の形式でそれぞれ作成し、全書類を原本1部とコピー9部の計10部ずつをホッチキス・クリップ止めせずに、本会事務局宛に送付すること。

なお、応募書類は返却しない。

- ①英文原著論文(1編)
- ②履歴書(所定用紙)
- ③過去5年の英文論文業績目録

※②については、第79回日本循環器学会ホームページ「学会賞」の「循環器臨床研究奨励賞募集要領」からダウンロードしてください。

●選考結果の通知

2014年12月中旬頃

●選考発表(授賞式)

第79回日本循環器学会学術集会において、選考結果を公表し、賞の贈呈を行う。

●その他

賞…賞状および副賞(症例報告部門50万円：最優秀賞1名×30万円、優秀賞2名×10万円)

●採点項目

「オリジナリティ・クオリティ・循環器臨床への貢献度」の3項目について、各5点満点(最低1点～最高5点)で採点を行う。

募集締切

2014年9月19日(金)17時必着

お問い合わせ先・送付先

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-1 帝国ホテルタワー18F

(一社)日本循環器学会(JCS)事務局：

第79回日本循環器学会学術集会(循環器臨床研究奨励賞)

担当：学術集会グループ

TEL. 03-5501-0862 FAX. 03-5501-9855

E-mail: meeting@j-circ.or.jp

循環器イメージング賞募集要領

●趣 旨

日本循環器学会は2013年に横浜で開催された、第77回日本循環器学会(会長：水野杏一)を記念し、わが国の循環器分野における画像研究の更なる発展、若手研究者の育成を願って「循環器イメージング賞」を設け、毎年度の優秀論文を顕彰する。

●対 象

1. 国内外を問わず行われた循環器学における画像に関する研究論文であること。
2. 応募論文は、この1年間(締切日より過去1年間)に発表されたもの、または投稿中のものであること。
3. 未受賞の論文(研究)のみを対象とする。国内外問わず一度受賞した論文(研究)は応募できない。
4. first author, または equal contributor, corresponding author であること。
5. 症例報告、画像報告(imaging)などは原則として審査対象外とする。

●応募資格

1. 日本循環器学会会員(正会員または準会員)であること。
2. 2015年3月31日現在40歳未満の者。
3. 当会が募集する他の学会賞への応募と重複しないこと。
4. 応募は1施設(教室)から1名とする。

●選考方法

循環器イメージング賞選考委員会の書類選考による。受賞者は毎年最優秀賞1名、優秀賞2名とする。

●応募方法と提出書類

次の②を所定の形式で、①③を任意の形式でそれぞれ作成し、全書類を原本1部とコピー9部の計10部ずつをホッチキス・クリップ止めせずに、本会事務局宛に送付すること。なお、応募書類は返却しない。

- ①英文原著論文
- ②履歴書(所定用紙)
- ③過去5年の英文論文業績目録

※②については、第79回日本循環器学会ホームページ「学会賞」の「循環器イメージング賞募集要領」からダウンロードしてください。

●選考結果の通知

2014年12月中旬頃

●選考発表(授賞式)

第79回日本循環器学会学術集会において、選考結果を公表し、賞の贈呈を行う。

●そ の 他

賞…賞状および副賞(総額150万円)

募集締切

2014年9月19日(金)17時必着

お問い合わせ先・送付先

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-1 帝国ホテルタワー18F

(一社)日本循環器学会(JCS)事務局：

第79回日本循環器学会学術集会(循環器イメージング賞)

担当：学術集会グループ

TEL. 03-5501-0862 FAX. 03-5501-9855

E-mail: meeting@j-circ.or.jp

Guide for the Young Investigator's Award for International Students

[OBJECTIVE]

The International Committee of the Japanese Circulation Society awards the Young Investigator's Award to International Students who are young researchers who come to Japan to do their research and who contribute to the progress of cardiovascular and related fields.

[QUALIFICATIONS]

Each applicant must meet each of these criteria:

- ① Non-Japanese nationality, graduated from a university outside Japan and come to Japan to do a research, and have stayed in Japan for not more than 7 years as of March 31, 2015.
- ② A member (a regular member and an associate member) of the Japanese Circulation Society, and annual fee for membership must be paid before you apply.
- ③ Under 40 years old as of March 31, 2015.
- ④ Available to make an oral presentation in English at the 79th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society.
- ⑤ The manuscript submitted for the YIA award must not be submitted for other awards of the Japanese Circulation Society at the 79th Annual Scientific Meeting.
- ⑥ Non-winners of first place for YIA for International Students in the past.

[RESEARCH FOR THE AWARD]

Any basic or clinical science research in the cardiovascular or related fields that was conducted in Japan and has not been published as of September 30, 2014. Applicant must have made major contributions to the research concept(s) and conduct of the research.

[HOW TO APPLY]

Complete the following documents and submit them to the application office by registered mail. Documents should be 15 copies: one original, and fourteen photocopies. There are no special formats for these documents. Each document should be A-4 size: one page. The office will not return the documents regardless of the result for the award; the applicant is strongly encouraged to keep a copy of the original documents.

- ① Abstract: written in English, the length of abstract should not exceed 220 words without title, names and organizations
- ② Figures: no limit to the number of figures; all figures should be printed on one page
- ③ Legends of Figures: the legends of document
- ④ Certification of Qualifications: Prepared and signed by the director of applicant's research
- ⑤ Curriculum Vitae (written in English, include your JCS Registration Number)

[NOMINATION]

Preliminary nominations will be made based on the application documents. Final nominations will be made at the 79th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society. Awards will be granted for two categories: First place (to one applicant) and Second place (to three to four applicants).

[NOTIFICATION OF RESULT]

Applicants will receive a letter with the results of the preliminary nomination. The Japanese Circulation Society will announce results of the final nomination and confer the awards to finalists at Awards Ceremony during 79th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society.

[DEADLINE]

September 19, 2014. Applications must reach us by this date. There are no exceptions.

[APPLICATION OFFICE]

All documents must be sent to:
YIA for International Students
The Japanese Circulation Society
18th Floor, Imperial Hotel Tower,
1-1-1 Uchisaiwai-cho, Chiyoda-ku, Tokyo 100-0011,
JAPAN

[CONTACT PERSON]

Congress Group
Phone: 03-5501-0862 Fax: 03-5501-9855
E-mail: international@j-circ.or.jp

2014年度日本循環器学会留学支援助成募集要項

【趣旨】

日本循環器学会は、第73回日本循環器学会総会・学術集会(会長：松崎益徳)を記念し、海外留学する若手研究者の経済的支援を通じて、学術集会の発展、医学研究の振興を願って「留学支援基金」を設定する。

【対象】

2015年度に海外施設へ留学、将来的に日本に帰国し、循環器領域の進歩に著しい貢献が期待される研究者とする。

【助成額】

300万円を支援金として本人宛に交付する。

【応募資格】

1. 申請時において日本循環器学会の5年以上の会員歴がある会員(正会員または準会員)であり、会費を完納した満40歳未満の者(2015年4月1日時点での年齢)。
2. 留学期間は1年以上であること。
3. 2015年4月1日以降、2016年3月31日までに留学を開始すること。
※上記留学開始期間以前に出発する場合の応募は認めない。
※選考決定後、留学前に留学先を変更した場合、取消すこともあり得る。
4. 過去に本基金から助成を受けていないこと。
5. 申請時点では、本助成のみの応募とする。
6. 留学に際して、受入側からの支援が十分でなく、国内外問わず他学会および財団から同様の目的で助成を受けていないこと。

【選考方法】

公募とし、学術集会運営委員会において書類審査を行い、必要な手続きを経て応募者に通知する。助成を受ける者は1名とし、応募は1施設からは1名とする。

【応募方法】

以下の5点の書類を作成し、全書類を原本1部とコピー12部を各セットにして、日本循環器学会事務局に送付すること。なお、応募書類は返却しない。

※所定用紙は学会ホームページ <http://www.j-circ.or.jp/index.htm> の「留学支援助成」からダウンロードしてください。

- ①履歴書(所定用紙)
- ②申請書(所定用紙)
- ③推薦理由書(所定用紙、国内所属機関の責任者より推薦理由の記載を要する)
- ④過去5年の英文論文業績目録

※7月25日(金)17:00時点での業績に限ります。

締切日までに公表(オンライン含む)されていない論文は、受理証明書を添付して下さい。

- ⑤先方の留学機関からの留学承諾書(Letter 等)のコピー

【締切】

2014年7月25日(金)17:00(期日厳守、必着)

※書類が完備していない場合申請書を受理できません。提出の際は十分にご確認ください。

【対象者の公表】

2014年11月下旬に応募者に結果を通知する。また、対象者の氏名、所属、研究テーマを当ホームページに公表する。

【成果の報告】

1. 留学期間終了後3ヵ月以内に報告書を日本循環器学会に提出する。
2. 留学期間終了後の年次学術集会時において留学成果の発表を行う。
3. 留学期間中の研修に関して論文等に公表する場合は「日本循環器学会留学支援助成」による旨を書き添えること。

編集委員長からのメッセージ

Circ J Vol. 78 No. 4 掲載

Rapid Publication and Announcement of the 2014 JCS Meeting Activities

Hiroaki Shimokawa, MD, PhD

Dear Colleagues,

The 78th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society (*JCS 2014*) will be held in Tokyo on March 21–23, 2014 (Congress Chairperson, Ryozi Nagai, MD, PhD). The *Circulation Journal* rapidly publishes and announces *JCS 2014* activities as follows:

1. Late Breaking Clinical Trials / Late Breaking Cohort Studies Papers

Papers selected for presentation in the Late Breaking Clinical Trials (LBCT) / Late Breaking Cohort Studies (LBCS) sessions in *JCS 2014* will be rapidly published, after peer review, in the April issue of the Journal. In addition, these LBCT / LBCS papers (*JCS 2014*) will be published online along the presentation in order to attract widespread attention of the attendees, as well as readers worldwide.

2. JCS 2013 Awards

We are pleased to announce the following JCS Awards to be presented during the *JCS 2014* meeting:

1. Sato Award by the Japan Heart Foundation and the JCS (39th)

Tatsuya Shimizu, MD, PhD

(Institute of Advanced Biomedical Engineering and Science, Tokyo Women's Medical University)

“Cell Sheet-Based Tissue Engineering for Heart Regeneration”



2. CPIS (Cardiovascular Pharmacotherapy International Symposium) Award (22nd)

Takeya Minami, MD, PhD

(Department of Cardiovascular Medicine, Kyoto University Graduate School of Medicine)

“Reciprocal Expression of MRTF-A and Myocardin Is Crucial for Pathological Vascular Remodelling in Mice”



3. Cardiovascular Surgery Award (9th)

Masashi Kawamura, MD, PhD

(Department of Cardiovascular Surgery, Osaka University Graduate School of Medicine)

“Enhanced Survival of Transplanted Human iPS Cell-Derived Cardiomyocytes by the Combination of Cell-Sheets With the Pedicled Omental Flap Technique in a Porcine Heart”



4. Pediatric Cardiology Award (9th)

Hironori Matsuhisa, MD, PhD

(Department of Cardiovascular Surgery, Kobe Children's Hospital)

“Ventricular Septal Dysfunction After Surgical Closure of Multiple Ventricular Septal Defects”



5. Woman Researcher's Award (7th)

Yohko Yoshida, MD, PhD

(Department of Cardiovascular Biology and Medicine, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences)

“Semaphorin3E-Induced Inflammation Contributes to Insulin Resistance in Dietary Obesity”



6. Cardiovascular Clinical Research Investigator's Award (3rd)

Clinical Research Investigator

Hiroshi Watanabe, MD, PhD

(Department of Cardiovascular Biology and Medicine, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences)

“Identification of Causative Genes and Mechanisms, and Development of Novel Therapy in Arrhythmia Syndromes”



Case Report

[First Place]

Hiro Yamasaki, MD, PhD

(Cardiovascular Division, Faculty of Medicine, Tsukuba University Hospital)

“Ischemic Esophageal Ulceration That Developed After an Early Endoscopic Surveillance in a Patient Receiving Catheter Ablation for Atrial Fibrillation”



[Second Place] (in alphabetical order)

Mike Saji, MD

(Advanced Cardiac Valve Center, Department of Medicine, University of Virginia)

“Autopsy Finding of the Sapien XT Valve From a Patient Who Died Suddenly After Transcatheter Aortic Valve Replacement”



Hiromichi Wakui, MD, PhD

(Department of Medical Science and Cardiorenal Medicine, Yokohama City University Graduate School of Medicine)

“Endovascular Treatment of Renal Artery Stenosis Improves Contralateral Renal Hypertrophy With Nephrotic Syndrome”



7. Cardiovascular Imaging Award (1st)

[First Place]

Toshiro Kitagawa, MD, PhD

(Department of Cardiovascular Medicine, Hiroshima University Graduate School of Biomedical and Health Sciences)

“Integrin-Targeted Molecular Imaging of Experimental Abdominal Aortic Aneurysms by ¹⁸F-FPPRGD₂ Positron Emission Tomography”



[Second Place] (in alphabetical order)

Masae Uehara, MD, PhD

(Department of Cardiovascular Medicine, Chiba University Graduate School of Medicine and Department of Cardiovascular Medicine, The University of Tokyo Hospital)

“Diagnostic Accuracy of 320-Slice Computed-Tomography for Detection of Significant Coronary Artery Stenosis in Patients With Various Heart Rates and Heart Rhythms Compared With Conventional Coronary-Angiography”



Kihei Yoneyama, MD, PhD

(Cardiology, Department of Internal Medicine, St. Marianna University School of Medicine)

“Age, Sex, and Hypertension-Related Remodeling Influences Left Ventricular Torsion Assessed by Tagged Cardiac Magnetic Resonance in Asymptomatic Individuals: The Multi-Ethnic Study of Atherosclerosis”



The final results of the Young Investigator Awards (YIA) Competition, those of the International YIA Competition and those of Comedical Awards will be announced in the next issue of the Journal.

Hiroaki Shimokawa, MD, PhD

Editor-in-Chief

Circulation Journal

(Released online March 14, 2014)

Circ J Vol. 78 No. 5 掲載

Announcement of the 2014 JCS Meeting Activities (2)

Hiroaki Shimokawa, MD, PhD

Dear Colleagues,

As the Editor-in-Chief of the *Circulation Journal*, the official journal of the Japanese Circulation Society (JCS), I am pleased to further report the *JCS 2014* Meeting Activities.

JCS 2014 Activities

The *JCS 2014* Annual Meeting has been held during March 21–23 in Tokyo, Japan. The following winners of the Young Investigator's Award (YIA), the YIA for International Students and the Co-medical Award have been selected and were awarded during the Meeting. These awards should promote their careers.

1. Young Investigator's Award (31st)

Clinical Research

[First Place]

Machiko Kanzaki, MD

(Department of Cardiovascular Medicine, Osaka University Graduate School of Medicine)

“Morphometric and Quantitative Analysis in Cardiomyocyte's Nucleus Were Associated With Poor Outcome in Patients With Idiopathic Dilated Cardiomyopathy”



[Second Place]

Masaharu Kataoka, MD, PhD

(Division of Cardiology, Second Department of Internal Medicine, Kyorin University School of Medicine)

“Impact of Interventional Therapies for Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension: Comparison of Clinical Outcomes of Pulmonary Endarterectomy vs. Percutaneous Transluminal Pulmonary Angioplasty”



Kensuke Izumaru, MD

(Department of Medicine and Clinical Science, Kyushu University Graduate School of Medical Sciences)

“Association Between Non-High-Density Lipoprotein Cholesterol and Pathological Changes in Coronary Arteries Among Population-Based Autopsy Samples in Japan: The Hisayama Study”



Hiroyuki Suzuki, MD

(Division of Cardiology, Yokohama City University Medical Center)

“Utility of Non-Invasive Endothelial Function Test for Prediction of Deep Vein Thrombosis After Total Hip or Knee Arthroplasty”



Basic Research

[First Place]

Kyung-Duk Min, MD, PhD

(Department of Clinical Research and Development, Department of Cardiovascular Medicine, National Cerebral and Cardiovascular Center)

“The E3 Ligase Asb2 Regulates Cardiac Development Through Targeting Smad9 for Proteasomal Degradation”



[Second Place]

Atsushi Tanaka, MD

(Department of Cardiology, Keio University School of Medicine)

“Endothelin-1 Induces Contraction Variability in Hypertrophic Cardiomyopathy-iPS Cell-Derived Cardiomyocytes”



Hideki Uosaki, MD, PhD

(Division of Cardiology, The Johns Hopkins University School of Medicine)

“Identification of Chemicals Inducing Cardiomyocyte Proliferation in Developmental Stage-Specific Manner With Pluripotent Stem Cells”



Yasutomi Higashikuni, MD, PhD

(Department of Cardiovascular Medicine, The University of Tokyo)

“NLRP3 Inflammasome Activation Through the Heart-Brain Interaction Contributes to Adaptive Cardiac Hypertrophy in Response to Pressure Overload”



2. Young Investigator's Award for International Students (12th)

[First Place]

Suud Nergui, MD, PhD (Mongol)

(Department of Cardiovascular Medicine, Tohoku University Graduate School of Medicine)

“Molecular and Cellular Mechanisms of Right Ventricular Remodeling in Pulmonary Hypertension”



[Second Place]

Zhengda Pang, PhD (China)

(Department of Geriatric Medicine and Nephrology, Osaka University Graduate School of Medicine)

“Therapeutic Vaccine Against DPP4 Improves Glucose Metabolism in Mice”



Hongxian Wu, MD (China)

(Department of Cardiology, Nagoya University Graduate School of Medicine)

“Renin Inhibition Reduces Atherosclerotic Plaque Neovascularization and Stabilizes Established Atherosclerotic Plaques”



Nani Maharani, MD (Indonesia)

(Division of Regenerative Medicine and Therapeutics, Department of Genetic Medicine and Regenerative Therapeutics, Tottori University Graduate School of Medical Science)

“Uric Acid Enhanced Kv1.5 Channel Expression in Atrial Myocytes via Activation of Uric Acid Transporters, Xanthine Oxidase-Dependent Oxidative Stress, ERK Pathway”



Somasundaram Arumugam, PhD (India)

(Department of Clinical Pharmacology, Niigata University of Pharmacy and Applied Life Sciences)

“Depletion of Cardiac 14-3-3eta Protein Adversely Influences Pathologic Cardiac Remodeling via Exacerbation of Inflammation, Endoplasmic Reticulum Stress, and Suppression of Regeneration After Coronary Artery Ligation in Mice”



3. Co-medical Award (4th)

Clinical Session

[First Place]

Eriko Miyata

(ICU, Social Insurance Kinan Hospital)

“Risk Analysis for Aspiration Pneumonia After Cardiovascular Surgery Based on Super-Aging Society: A New Dysphagia Algorithm for ICU Staff”



[Second Place]

Hiromi Takada

(Department of Cardiology, Keio University School of Medicine)

“The Presence of Skin Disorders Decreased Quality of Life in Female Patients With Severe Pulmonary Hypertension”



Kaori Ando

(Department of Rehabilitation, Okayama Medical Center National Hospital)

“Effect of Resistance Training on Respiratory and Hemodynamic Responses in Patients With Pulmonary Arterial Hypertension”



Team Approach Session

[First Place]

Emiko Hasegawa

(Division of Human Welfare, Department of Human Welfare, Seigakuin University)

“The Effect of Type D on Depression in Patients With Cardiovascular Disease”



[Second Place]

Chiaki Fujiwara

(Nursing Department, Dokkyo Medical University Nikko Medical Center)

“Effects of Inter-Professional Educational Work Using a Cardiovascular Rehabilitation Guidebook Published by Ourselves”



Natsuki Mizuno

(New-Tokyo Hospital)

“Evaluation of Problems and Consideration of Countermeasures From a Survey of Door to Balloon Time in New-Tokyo Hospital”



Invasive and Non-Invasive Examination Session

[First Place]

Takahide Murasawa

(Department of Medical Engineering, The University of Tokyo Hospital)

“Continuous Cardiac Stroke Volume Monitoring Leads to Early Detection of Cardiac Tamponade in the Percutaneous Intracardiac Intervention”

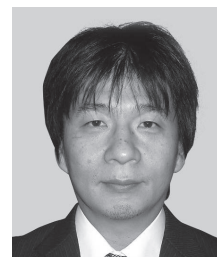


[Second Place]

Takahiro Shirakashi

(Department of Medical Engineer, Osaka Saiseikai Nakatsu Hospital)

“The Possibility and Feasibility of Optical Coherence Tomography Using 5Fr Guiding Catheter”



Noriko Kimura, BSc

(Minamino Heart Clinic)

“The Characteristics of Gender Differences in Myocardial Fat Deposition”



Imaging and Treatment Session

[First Place]

Junji Mochizuki

(Department of Radiology, Minamino Heart Clinic)

“Characterization of Adipose Tissue Between Obesity and Metabolic Syndrome: CT Perspective”



[Second Place]

Naka Saito

(Kanagawa Cardiovascular and Respiratory Center)

“Prognostic Significance of Late Gadolinium Enhanced Magnetic Resonance Imaging in Patients With Failure With Preserved Ejection Fraction”



Kyoichi Kato, PhD

(Graduate School of Medicine, Showa University)

“A Radiological Technologist’s New Measure in the Team Approach to Health Care Team Which Introduced the Guideline on Radiological Protection”



Hiroaki Shimokawa, MD, PhD

Editor-in-Chief

Circulation Journal

(Released online April 10, 2014)

女性循環器医の勤務環境改善のための提言

近年、若手の女性循環器医数は増加してきており、2014年3月現在、日本循環器学会の女性会員数の割合は、30代では18.9%、20代では22.6%となっている。そのため、日本循環器学会男女共同参画委員会は、循環器分野における男女共同参画の推進を図り、男女共同参画の視点に立った教育・研究・就業体制を確立するため、検討を重ねてきた。

この度、「女性循環器医の勤務環境改善」のために、下記を提言する。

1. 出産・育児・介護との両立支援

- (1) 仕事と子育てとの両立を支援するため、院内保育所や病児保育室の積極的活用を推進する
- (2) 柔軟な勤務体制を推進する
 - A. 短時間勤務
 - B. ワークシェアリング
 - C. 特定業務の免除・軽減：残業，当直，時間外勤務（早朝，夜間，休日勤務など），緊急呼び出し，オンコール，放射線業務など
 - D. 夜間の呼び出しの際の保育サービスの提供
- (3) 産休・育休・介護休暇中の代替循環器医確保のために、各地域の医師会などと連携して、代替循環器医師を確保するための運用システムの構築をめざす
 - ・退職された医師の活用も図る
- (4) 上司や職場の理解をさらに促進するため、男女共同参画活動への病院管理者の積極的な参加を働きかける

2. キャリアアップの支援

- (1) 専門医の単位を取得しやすいように、各支部の地方会でも、託児サービスを提供する
 - ・乳幼児のみならず小学生も預けられるようにする
- (2) 女性循環器医の出産・子育て後の復帰研修やスキルアップのためのセミナーを、各支部毎に定期的に開催する
 - ・各支部単位で複数の病院の循環器内科が協力して、復帰研修やスキルアップのための教育・研修プログラム（例えばカテーテル，エコー，不整脈，救急など）を提供する
- (3) 女性循環器医の悩みや意見を聞く交流会を、各支部毎に年1～2回開催するとともに、仕事と子育てとの両立などに関して相談できる場を提供していく
- (4) 年次学術集会および各支部の地方会における女性座長の増員を推進する
- (5) 日本循環器学会の女性社員や女性支部評議員の増員を推進する

2014年3月20日 日本循環器学会 男女共同参画委員会

循環器専門医制度

専門医制度委員会

2014年度 日本循環器学会認定循環器専門医資格認定審査について

I. 審査方法

書類審査及び筆記試験(書類審査合格者のみ筆記試験の受験資格を有する)

II. 受験資格

1. 次の5項を充足していること。
 - 1) 日本国の医師免許証を有し、医師としての人格及び見識を備えていること。
 - 2) 受験年度の4月1日現在、認定内科医/総合内科専門医/外科学会認定登録医/外科専門医/小児科専門医、いずれかの資格を取得していること。
 - 3) 本学会員で、通算して6年以上の会員歴を有すること(※1)。
 - 4) 医師免許取得後、専門医試験日前日をもって満6年以上の臨床研修歴を有すること(※2)。6年のうち3年以上は本学会指定の研修施設で研修していること。
2004年度(平成16年度)以降に医師免許を取得したものは、基本領域資格取得後、専門医試験日前日をもって満3年以上本学会指定の研修施設で研修していること(※3)。
 - 5) 「AHA ACLS プロバイダーコース」「AHA ACLS-EP コース」「AHA ACLS インストラクターコース」「AHA ACLS-EP インストラクターコース」のいずれかを受講し、受験年度の4月1日現在有効な認定を受けていること。また小児科系に限り「AHA PALS プロバイダーコース」「AHA PALS インストラクターコース」も同等資格として認める。
 2. 審査料および年会費を2014年6月末までに完納していること(※4)。
 3. 喫煙が心血管病の危険因子であることを認識し、自ら禁煙し且つ禁煙の啓発に努めること。
 4. 試験の合格後、専門医名簿への公開に同意すること。
- ※1 2014年4月1日現在6年目で可。2010年度以降の入会者は受験できません。
- ※2 2003年度以前に医師免許を取得した方は2年間のスーパーローテーションを含む。
- ※3 2011年9月以降の認定内科医資格取得者は満3年以上の研修歴が満たないため、今回受験できません。
- ※4 払込用紙は4月下旬に送付の予定です。

III. 申請方法

以下の書類を事務局まで郵送してください。①～⑤はWEBを介して作成し、印刷して提出してください。⑥はWEB上よりダウンロードして必要事項を記入して提出してください。⑦～⑧はコピーを提出してください。

(①～⑧まで全ての書類を同封してお送りください)

- ① 循環器専門医資格認定審査申請書
- ② 診療実績表(A)受持入院患者一覧表
- ③ 診療実績表(B)研修記録
- ④ 診療実績表(C)手術所見、(D)外科手術記録、(E)剖検記録のいずれか
- ⑤ 研修(研修関連)施設在籍証明書
- ⑥ 循環器専門医研修カリキュラム達成度評価表
- ⑦ 基本領域の資格証書のコピー
- ⑧ 「AHA ACLS プロバイダー」「AHA ACLS-EP」「AHA ACLS インストラクター」「AHA ACLS-EP インストラクター」、また小児科系に限り「AHA PALS プロバイダー」「AHA PALS インストラクター」いずれかのカードのコピー

IV. 日 程

日 程	内 容
1 月末～ 3 月31日	受験申請・申請書類作成期間(※1) <u>この期間以後の新規受験申請は受付不可</u>
4 月 1 日～ 4 月11日 17時必着	申請書類提出期間(※2)
5 月上旬	審査料払込用紙送付(※3)
5 月～ 7 月中旬	申請書類審査期間
7 月下旬	書類審査結果通知(※4)
8 月24日	筆記試験施行(※5) 東京国際フォーラム, 梅田スカイビル
10月下旬	合否通知

- ※1 受験者がWEBを介して受験申請・申請書類を作成する期間。
 ※2 受験者が申請書類を事務局へ送付する期間。
 この期間以後に到着した書類は一切受け付け致しません。
 ※3 事務局から審査料払込用紙を送付します。
 ※4 書類審査不合格の場合は、責任者にも判定理由を通知します。
 ※5 試験練習問題は学会ホームページ(一般公開)でご確認頂けます。

V. 認定について

- 試験の合格後、専門医認定申請の手続きをご案内致します。
- 認定料は30,000円です。

循環器専門医資格認定試験およびその申請書等において不正が判明した場合は専門医制度規則により厳格な処分が科せられます。

専門医認定更新の手続きについて

認定 4 年目 8 月下旬 「単位取得状況通知書」のお届け

認定 5 年目 10 月下旬 「循環器専門医認定更新のご案内」のお届け

認定更新に必要な条件は以下の通りです。

- 1 「更新」の意思表示をしていること
- 2 基本領域の資格を取得していること
- 3 更新に必要な単位を取得していること
(更新に必要な単位数は所定単位表をご確認ください。)
- 4 更新年度までの年会費を納入していること
- 5 認定更新料を納入していること

これらの条件を全て満たしていない場合は、資格を更新する事ができません。

専門医認定更新研修の必修化について

専門医制度委員会、理事会、2009年3月20日の評議員会の審議を経て循環器専門医認定更新の際に所定の研修が必修となりました。変更点は下記のとおりです。

専門医認定更新に必要な研修単位(50単位)のうち、必修研修の単位配分は下記のとおりとなります。認定更新には下記の必修研修単位を含む合計50単位が必要となります。

【必修研修と単位数】

① 最新医療の知識習得に関する研修……30単位

日本循環器学会主催の学術集会・地方会(いずれも教育セッションを含んでもよい)への参加にて単位を取得してください。

② 医療安全・医療倫理に関する研修……2単位

学術集会および地方会(※1)開催時の「医療安全・医療倫理に関する講演会」への参加あるいはインターネット(※2)での視聴研修プログラムによる研修で単位を取得してください。

※1 各地方会での開催につきましてはDVDセッションとなり同じ講演を既に聴講されている場合には単位は重複して加算されません。

開催状況につきましては各地方会により異なります。事前に必ずご確認ください。

※2 インターネットでの視聴研修につきましては、下記からご覧いただけます。視聴にはID(会員番号)とパスワードが必要です。パスワードをお忘れの場合は下記ホームページから再発行可能です。

日本循環器学会ホームページ(<http://www.j-circ.or.jp>)



循環器専門医制度



〔専門医専用〕医療安全 Web 研修

【必修研修単位の取得期間】

現在の認定期間	必修研修単位の取得期間
2009/4/1～2014/3/31	2009/4/1～2014/3/31
2010/4/1～2015/3/31	2010/4/1～2015/3/31
2011/4/1～2016/3/31	2011/4/1～2016/3/31
2012/4/1～2017/3/31	2012/4/1～2017/3/31
2013/4/1～2018/3/31	2013/4/1～2018/3/31

【留学による特別措置】

1) 留学期間中の海外学会参加研修単位について

留学により、日本循環器学会主催の学術集会・地方会に参加できなかった場合は、その留学期間中に開催された海外学会(WCC, AHA, ACC, APSC, ESC)への参加を、最新医療の知識習得に関する研修を行ったとして必修研修単位15単位を付与します。ただし、上記5学会の内1年間に複数参加しても、1年度につき1回分の研修単位のみしか認められません。

例) 2012年度(2012/4/1~2013/3/31)にAHAとACCに参加した場合は、どちらか一方の参加のみ「最新医療の知識習得に関する研修」15単位として認める。

※留学期間が連続して10ヶ月以上の者を対象とする。

申請方法は帰国後、2)に必要な留学単位申請書および在籍証明書に上記の海外学会参加証(ネームカード)コピーを同封してください。抄録集のコピーは不可。

2) 留学期間の研修単位について

留学単位は必修研修以外の区分として現状通り1ヶ月1単位を加算します。

※帰国後、単位申請書および在籍証明書のコピーを提出すること。

3) 認定更新日経過の場合について

更新日(各年度4月1日)を超えて留学中の場合は、現状通り取得単位に関わらず、所定の更新手続きを行えば更新することができます。

循環器専門医認定更新の必修研修および単位につきましてご質問などございましたら下記連絡先までお問合せください。

問い合わせ先：
一般社団法人 日本循環器学会(JCS 事務局)
専門医制度委員会 担当
E-mail: senmoni@j-circ.or.jp

学術集会・地方会での専門医研修単位登録について

- 学術集会・地方会での更新に必要な研修単位の取得方法は「専門医カード」または「単位登録票」によるものです。
- 学術集会・地方会当日，会場の各専門医研修単位登録受付にて先生ご自身でのご登録のお手続きが必要です。
- なお，会期中に登録を忘れた場合，会期後にプログラム・参加証等の他書類で研修単位を申告されても受付致しません。

その他専門医制度に関する手続き・問い合わせ

下記申請に関しては、学会ホームページ(<http://www.j-circ.or.jp/>) **循環器専門医制度** をご確認の上、必要書類をダウンロードしてください。

- 証明書交付申請(和文証明・英文証明書発行、循環器専門医証再発行)
- 施設証再交付申請
- 留学期間の研修単位申請
- 専門医カード再発行申請

上記の他、専門医制度に関する情報を学会ホームページ **循環器専門医制度** に掲載しておりますので、ご確認ください。

問い合わせ先：

一般社団法人 日本循環器学会(JCS 事務局)

専門医制度委員会 担当

E-mail: senmoni@j-circ.or.jp

地方会・関連学会・研究会情報

専門医研修単位認定学会情報

【お願い】

各学会情報は、申請された時点の情報を掲載していますので、開催までに情報に変更が生じることがございます。当日参加される場合は、必ず各学会・各地方会・各研究会にて情報をご確認ください。

1. 日本循環器学会地方会

(単位登録票方式／

地方会：5単位、教育セッション：3単位、医療安全：2単位※)

※医療安全については各地方会により開催が異なります。各支部へ直接お問い合わせください。

《地方会当日会場での単位登録のみ受付》

第111回北海道地方会

会 期：2014年6月28日(土)

会 場：北海道大学学術交流会館(札幌市)

会 長：樋上哲哉(札幌医科大学心臓血管外科学講座)

第112回北海道地方会

会 期：2014年11月22日(土)

会 場：北海道大学学術交流会館(札幌市)

会 長：松居喜郎

(北海道大学循環器・呼吸器外科学分野)

第113回北海道地方会

会 期：2015年6月27日(土)

会 場：北海道大学学術交流会館(札幌市)

会 長：未定

第114回北海道地方会

会 期：2015年11月28日(土)

会 場：北海道大学学術交流会館(札幌市)

会 長：未定

第158回東北地方会

会 期：2014年6月7日(土)

会 場：岩手医科大学(盛岡市)

会 長：中村元行

(岩手医科大学内科学講座心血管・腎・内分泌内科分野)

第159回東北地方会

会 期：2014年12月6日(土)

会 場：仙台国際センター(仙台市)

会 長：竹石恭知

(福島県立医科大学循環器血液内科学講座)

第160回東北地方会

会 期：2015年6月6日(土)

会 場：未定(盛岡市)

会 長：未定(秋田大学)

第232回関東甲信越地方会

会 期：2014年6月21日(土)

会 場：東京ステーションコンファレンス(千代田区)

会 長：井上晃男(獨協医科大学心臓・血管内科)

第233回関東甲信越地方会

会 期：2014年9月6日(土)

会 場：東京ステーションコンファレンス(千代田区)

会 長：中村文隆

(帝京大学ちば総合医療センター第三内科)

第234回関東甲信越地方会

会 期：2014年12月6日(土)

会 場：東京ステーションコンファレンス(千代田区)

会 長：大島 茂(群馬県立心臓血管センター)

第235回関東甲信越地方会

会 期：2015年2月7日(土)

会 場：東京ステーションコンファレンス(千代田区)

会 長：小林義典

(東海大学付属八王子病院循環器内科)

第143回東海地方会

会 期：2014年7月5日(土)

会 場：じゅうろくプラザ(岐阜県岐阜市)

会 長：竹村博文(岐阜大学第1外科)

第128回北陸地方会

会 期：2014年7月6日(日)

会 場：金沢大学医薬保健学域・医学類

(石川県金沢市)

会 長：井野秀一

(金沢大学附属病院・先端医療開発センター)

第144回東海・第129回北陸合同地方会

会 期：2014年10月25日(土)／26日(日)

会 場：ウインクあいち(愛知県産業労働センター)

(愛知県名古屋市)

会 長：伊藤正明(三重大学循環器・腎臓内科学)

第117回近畿地方会

会 期：2014年7月12日(土)

会 場：ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター(大阪市)

会 長：佐賀俊彦(近畿大学心臓血管外科)

第118回近畿地方会

会 期：2014年11月29日(土)
会 場：ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター(大阪市)
会 長：上田真喜子(大阪市立大学病理病態学)

第105回中国地方会

会 期：2014年12月6日(土)
会 場：ANA クラウンプラザホテル宇部(宇部市)
会 長：矢野雅文(山口大学器官病態内科学)

第105回四国地方会

会 期：2014年12月6日(土)
会 場：高松商工会議所(高松市)
会 長：上枝正幸(三豊総合病院・循環器科)

第104回中国・四国合同地方会

会 期：2014年7月18日(金)、19日(土)
会 場：岡山コンベンションセンター(岡山市)
会 長：伊藤 浩(岡山大学循環器内科学)

第116回九州地方会

会 期：2014年6月28日(土)
会 場：電気ビル 共創館／みらいホール(福岡市)
会 長：冷牟田浩司(九州医療センター循環器内科)

第117回九州地方会

会 期：2014年12月6日(土)
会 場：沖縄コンベンションセンター(宜野湾市)
会 長：國吉幸男(琉球大学胸部心臓血管外科学講座)

2. 循環器関連学会

(自己申告方式／3単位)

※今後、会期および会場などの変更が生じる場合があります。詳しくは直接各学会事務局へお問い合わせください。

第44回日本心臓血管外科学会

会 期：2014年2月19日(水)～21日(金)
会 場：ホテル日航熊本・熊本県民交流館パレア・鶴屋ホール(熊本市)
会 長：川筋道雄(熊本大学心臓血管外科)

第50回日本小児循環器学会

会 期：2014年7月3日(木)～5日(土)
会 場：岡山コンベンションセンター(岡山市)
会 長：佐野俊二(岡山大学心臓血管外科)

第46回日本動脈硬化学会

会 期：2014年7月10日(木)～11日(金)
会 場：京王プラザホテル(新宿区)
会 長：永井良三(自治医科大学)

第20回日本心臓リハビリテーション学会

会 期：2014年7月19日(土)～20日(日)
会 場：みやこメッセ(京都市)
会 長：上嶋健治(京都大学医学研究科)

第50回日本循環器病予防学会

会 期：2014年7月20日(日)～21日(月)
会 場：京都市勧業館 みやこめっせ(京都市)
会 長：山科 章(東京医科大学第二内科)

第29回日本不整脈学会大会

会 期：2014年7月22日(火)～25日(金)
会 場：ザ・プリンスパークタワー東京(港区)
会 長：新田 隆(日本医科大学心臓血管外科)

第23回日本心臓血管インターベンション治療学会

会 期：2014年7月24日(木)～26日(土)
会 場：名古屋国際会議場
会 長：西川英郎(三重ハートセンター)

第62回日本心臓病学会

会 期：2014年9月26日(金)～28日(日)
会 場：仙台国際センター、東北大学百周年記念会館、川内萩ホール、仙台市民会館(仙台市)
会 長：下川宏明(東北大学循環器内科学)

第67回日本胸部外科学会

会 期：2014年9月30日(火)～10月3日(金)
会 場：福岡国際会議場、福岡サンパレス ホテル&ホール(福岡市)
会 長：富永隆治(九州大学医学研究院)

第18回日本心不全学会

会 期：2014年10月10日(金)～12日(日)
会 場：大阪国際会議場(大阪市)
会 長：北風政史(国立循環器病研究センター臨床研究部・心臓血管内科)

第37回日本高血圧学会

会 期：2014年10月17日(金)～19日(日)
会 場：パシフィコ横浜(横浜市)
会 長：梅村 敏(横浜市立大学病態制御内科学)

第55回日本脈管学会

会 期：2014年10月30日(木)～11月1日(土)
会 場：倉敷市芸文館(倉敷市)
会 長：種本和雄(川崎医科大学心臓血管外科)

第28回日本冠疾患学会

会 期：2014年12月12日(金)～13日(土)
会 場：東京ステーションコンファレンス(千代田区)
会 長：(内科系)：一色高明(帝京大学循環器内科)
(外科系)：高梨秀一郎
(榊原記念病院心臓血管外科)

3. 関連学会

(自己申告方式／1単位)

※今後、会期および会場などの変更が生じる場合があります。詳しくは直接各学会事務局へお問い合わせください。

第16回日本成人先天性心疾患学会

会 期：2014年1月11日(土)～12日(日)
会 場：岡山コンベンションセンター(岡山市)
会 長：佐野俊二(岡山大学心臓血管外科)

第41回日本集中治療医学会

会 期：2014年2月27日(木)～3月1日(土)
会 場：京都国際会議場、グランドプリンスホテル京都(京都市)
会 長：氏家良人(岡山大学救急医学)

第91回日本生理学会大会

会 期：2014年 3 月16日(日)～18日(火)
会 場：鹿児島大学郡元キャンパス(鹿児島市)
会 長：亀山正樹(鹿児島大学神経筋生理学)

第114回日本外科学会

会 期：2014年 4 月 3 日(木)～ 5 日(土)
会 場：国立京都国際会館(京都市)
会 長：上本伸二(京都大学肝胆膵・移植外科)

第73回日本医学放射線学会

会 期：2014年 4 月10日(木)～13日(日)
会 場：パシフィコ横浜(横浜市)
会 長：金澤 右(岡山大学放射線科)

第117回日本小児科学会

会 期：2014年 4 月11日(金)～13日(日)
会 場：名古屋国際会議場(名古屋市)
会 長：駒田美弘(三重大学医学系研究科)

第111回日本内科学会

会 期：2014年 4 月11日(金)～13日(日)
会 場：東京国際フォーラム(千代田区)
会 長：伊藤貞嘉(東北大学腎・高血圧・内分泌学)

第87回日本超音波医学会

会 期：2014年 5 月 9 日(金)～11日(日)
会 場：パシフィコ横浜(横浜市)
会 長：貴田岡正史(公立昭和病院内分泌代謝科)

第56回日本老年医学会

会 期：2014年 6 月12日(木)～14日(土)
会 場：福岡国際会議場(福岡市)
会 長：高柳涼一
(九州大学医学研究院病態制御内科学)

第53回日本生体医工学会

会 期：2014年 6 月24日(火)～26日(木)
会 場：仙台国際センター(仙台市)
会 長：松木英敏(東北大学医工学研究科)

第39回日本睡眠学会

会 期：2014年 7 月 3 日(木)～ 4 日(金)
会 場：あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)，ホテルクレメント徳島(徳島市)
会 長：勢井宏義(徳島大学統合生理学)

第35回日本循環制御学会

会 期：2014年 7 月 4 日(金)～ 5 日(土)
会 場：九州大学医学部百年講堂(福岡市)
会 長：廣岡良隆
(九州大学医学研究院先端循環制御学)

第57回日本腎臓学会

会 期：2014年 7 月 4 日(金)～ 6 日(日)
会 場：パシフィコ横浜(横浜市)
会 長：渡辺 毅
(福島県立医科大学腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科)

第24回日本心臓核医学会

会 期：2014年 7 月18日(金)～19日(土)
会 場：愛媛県民文化会館(ひめぎんホール)
(松山市)
会 長：望月輝一(愛媛大学放射線医学)

第54回日本核医学会

会 期：2014年11月 6 日(木)～ 8 日(土)
会 場：大阪国際会議場(大阪市)
会 長：畑澤 順(大阪大学核医学)

4. 医学会総会

(専門医単位／ 5 単位)

第29回日本医学会総会

会 期：2015年 4 月11日(土)～13日(月)
会 場：国立京都国際会館，
グランドプリンスホテル京都，他
会 頭：井村裕夫(京都大学名誉教授)

5. 国際学会等

(自己申告方式／ 2 単位)

ACC Annual Meeting

AHA Scientific Sessions

APCC

ESC Congress

WCC Scientific Sessions

※詳細については海外学会情報をご覧ください。

6. 「本会指定の学術集会・学術講演会(国際会議)」および「指定研修集会制度」は2012年 3 月をもって終了しました。

自己申告区分として単位申請可能な会については学会 HP にて確認ください。

海外学会情報

ESC Congress 2014

会 期：2014年8月30日(土)～9月3日(水)

会 場：Barcelona(Spain)

U R L：http://www.escardio.org/

AHA Scientific Sessions 2014

会 期：2014年11月15日(土)～19日(水)

会 場：Chicago(U.S.A)

U R L：http://www.heart.org/HEARTORG/

The 58th Annual Scientific Meeting of The Korean Society of Cardiology (KSC 2014)

会 期：2014年11月28日(金)～29日(土)

会 場：Goyang (Korea)

ACC Annual Scientific Session 2015

会 期：2015年3月14日(土)～16日(月)

会 場：San Diego(U.S.A)

U R L：http://accscientificsession.cardiosource.org/ACC.aspx

その他の学会開催情報

第8回 Trans Catheter Imaging Forum(TCIF2014)

会 期：2014年5月30日(金)～31日(土)

会 場：大阪国際会議場

問合先：〒550-0005 大阪府大阪市西区西本町1丁目
8番2号 三晃ビル505号

非営利活動法人(NPO 法人)日本血管映像化
研究機構

Tel. 06-4391-0111 Fax. 06-4391-0112

E-mail: nkek@mx7.alpha-web.ne.jp

The 15th CTO Club

会 期：2014年6月20日(金)～21日(土)

会 場：ウインクあいち

代表世話人：山根正久(埼玉石心会病院)

問合先：〒440-0851 愛知県豊橋市前田南町1-1-5 2E

Tel. 0532-57-1276 Fax. 0532-52-2883

Email: cto@heartorg.gr.jp

URL: http://www.cct.gr.jp/ctoclub/

研究助成

公益財団法人循環器病研究振興財団

第22回(2014年度)バイエル循環器病研究助成募集要項

研究テーマ：深部静脈血栓症

助成金額：500万円／1件、250万円／2件

応募資格：1970年4月1日以降に生まれた日本に在住
する研究者

応募方法：ホームページから申請書および承諾書を各
自入手し、推薦者および所属機関長の署名・
職印捺印の上、財団まで送付のこと

応募締切：2014年1月15日～3月15日(同日消印有効)

問合先：〒565-8565 吹田市藤白台5-7-1 国立循環器
病センター内

公益財団法人循環器病研究振興財団「バイエ
ル循環器病研究助成」係

Tel. 06-6872-0010 Fax. 06-6872-0009

E-mail: koubo@jcvrf.jp

URL: http://www.jcvrf.jp

公益信託循環器学研究振興基金平成26年度募集要項

1. 研究助成

研究課題：心臓血管疾患の機序・診断・治療・予防に
関する基礎的・臨床的研究

①microvessel angina の発症機構、治療及び予防に

関する研究

②肺高血圧症の病態、治療に関する研究

③心血管疾患のリスクファクターとしての炎症、免
疫に関する研究

④心血管疾患のイメージング法

⑤糖尿病性心血管障害の機序、診断と治療に関する
研究

⑥新しい視点から見た不整脈治療

⑦その他

応募資格：日本国内で研究を行う40歳以下の研究者で、
国籍は不問。但し、教授は除く

助成額：原則200万円／件、総額1,400万円以内

研究期間：2年間

受賞者の義務・条件：

①授与式(平成27年2月開催)への出席

②研究発表会(平成29年2月開催)での研究発表

③研究報告書・助成金使用報告書・領収書原本(委
任経理の場合コピー可)の提出

④大学等の委任経理における事務経費の徴収は不可

2. 褒賞：内田賞

研究対象：日本国内で行った循環器分野の研究でかつ、
平成25年度に学術誌に掲載された論文

対象研究者：論文のファーストオーサーで、応募時45

歳以下の研究者。但し、教授・准教授は除く
賞金額：原則500万円／件、総額1000万円以内
受賞者の義務：授与式(平成27年2月開催)での研究発表(スライド使用・7分程度)
募集期間(研究助成・褒賞ともに)：平成26年6月2日(月)～7月31日(木)(必着)
応募方法：下記 URL から指定用紙をダウンロードすること
問合せ先：〒105-8574 東京都港区芝3-33-1
三井住友信託銀行 リテール受託業務部 公益信託グループ 循環器学研究振興基金 申請口
Tel. 03-5232-8910 Fax. 03-5232-8919
URL: <http://www.smtb.jp/personal/entrustment/management/public/example/list.html>

日本心臓血管内視鏡学会 褒賞内田賞応募要項

主 旨：日本における循環器病の発展に寄与する埋もれた若手研究者を育成する

賞 金：250万円

応募資格：

- 1) 日本国内で行った循環器分野の研究
- 2) 2013年4月～2014年3月に学会誌に掲載された論文
- 3) 対象研究者は論文のファーストオーサーで応募時45歳以下の研究者
- 4) 他の学会賞などを受賞していない論文

応募方法：下記 URL から申込書を各自入手し、必要書類を下記住所まで送付のこと

応募締切：2014年5月1日～6月30日

問合せ先：〒102-0074 東京都千代田区九段南2-1-30
イタリア文化会館ビル 8F
日本心臓血管内視鏡学会「褒賞内田賞」係
(株)メディカルトリビューン 学会事務局
Tel. 03-3239-7264 Fax. 03-3239-7225
URL: <http://jacscopy.org/ja/>

公益財団法人福田記念医療技術振興財団第25回(平成26年度)研究助成等募集

(公財)福田記念医療技術振興財団では、ME を利用した医療技術に関する研究助成を行っており、4月1日より次のとおり募集を行う。

公募事業：

①研究助成

- 1) 個人研究：100万円／件を限度に計6件
- 2) 共同研究：200万円／件を限度に計5件

②国際交流助成

- 1) 研究留学：100万円／件を限度に計4件
- 2) 国際会議出席：30万円／件を限度に計4件
- 3) 海外からの研究者招聘：100万円／件を限度に計4件

③論文表彰(副賞50万円)：2件

応募締切(当日消印有効)：

①については2014年4月26日

②については前期分2014年4月26日、後期分2014年12月31日

(注) 国際交流前期分は、出発が2014年7月1日から2015年2月28日までの募集

③については2014年12月31日

応募方法：財団所定の申請書に記載し、書留で事務局宛に送付

問合せ先：〒113-8570 東京都文京区湯島2-31-20 フクダ電子(株) 春木町ビル内
公益財団法人福田記念医療技術振興財団事務局
Tel. 03-5684-0288 Fax. 03-5684-0268
URL: <http://www.fukudakinen.or.jp>

2014年度健康科学・予防医学研究助成テーマ募集

株式会社山田養蜂場本社「山田養蜂場みつばち研究助成基金」

I. 一般研究プログラム

1) 新規応募研究

テーマ：

- ①ミツバチ産品およびサプリメント素材に関する予防医学的研究
 - A. 脳・神経・精神(認知症・うつなど)
 - B. 循環器・消化器・代謝(メタボリックシンドローム・腸疾患など)
 - C. 免疫(がん・アレルギー・感染症・腸管免疫など)
 - D. 耳鼻咽喉・眼・口腔
 - E. アンチエイジング(皮膚・筋肉・骨・長寿など)

②環境保護に関する研究(ミツバチ・復興支援に関する研究を含む)

③予防医学の有用性に関する研究(データサイエンス、疫学など)

応募資格：これまでに本研究助成の採択歴がない研究者および養蜂家。年齢制限なし。

助成金額：1テーマにつき50～200万円

助成期間：1年間(2014年10月1日～2015年9月30日)

2) 継続推進研究

テーマ：過去に当基金にて実施したテーマの発展的研究。ミツバチ産品およびサプリメント素材に関する予防医学的研究、およびその関与成分(有効成分)またはメカニズム研究。分野の指定なし。

応募資格：これまでに本研究助成の採択歴がある研究者およびその共同研究者。年齢制限なし。

助成金額：1テーマにつき200～1,000万円

助成期間：1～3年間(2014年10月1日開始)

II. 特定研究プログラム

1) ローヤルゼリーに関する研究

指定テーマ:

- ①筋力維持・向上, 骨の健康
- ②血圧改善, 血流改善
- ③脳機能維持・向上
- ④免疫力の向上
- ⑤皮膚の健康・保湿

2) プロポリスに関する研究

指定テーマ:

- ①免疫力向上
- ②アレルギー改善
- ③脳機能維持・向上
- ④血糖改善

応募資格: 本研究助成の採択歴, 年齢による制限なし.

助成金額: 1 テーマにつき500~3,000万円

助成期間: 2~3年間(2014年10月1日開始)

応募期間: 2014年5月1日(木)~29日(木)(17:00締切)

応募方法: 下記サイト内の応募フォームからの応募に限る

問合せ先: 山田養蜂場みつばち研究助成基金事務局

〒708-0393 岡山県苫田郡鏡野町市場194

E-mail: research-grant@yamada-bee.com

URL: <http://www.bee-lab.jp/grant/>

2013年度(2013年4月~2014年3月)に学術誌に掲載された論文

対象研究者: 論文のファーストオーサーで, 応募時45歳以下の研究者(但し, 教授・准教授は除く)

賞金額: 500万円/1件, 総額1,000万円以内

募集期間: 2014年6月2日~2014年7月31日(必着)

応募方法: 申請書を下記URLからダウンロード(電話での請求も可)

問合せ先: 〒105-8574 東京都港区芝3-33-1

三井住友信託銀行リテール受託業務部公益信託グループ 循環器学研究振興基金 申請口

Tel. 03-5232-8910 Fax. 03-5232-8919

URL: <http://www.smtb.jp/personal/entrustment/management/public/example/list.html>

公益信託循環器学研究振興基金平成26年度募集要項

趣 旨: 循環器学に関する研究に携わる埋もれた人材の発掘育成を念頭に置き, 明治以来いまだ欧米に遅れをとっている循環器学域の進歩のために, この分野で研究に携わる若手医学研究者を対象とする研究助成を行うとともに優れた研究業績をあげた者に対して褒賞を贈呈することを目的とする

1. 研究助成

研究課題: 心臓血管疾患の機序・診断・治療・予防に関する基礎的・臨床的研究

- 1) microvessel angina の発症機構, 治療及び予防に関する研究
- 2) 肺高血圧症の病態, 治療に関する研究
- 3) 心血管疾患のリスクファクターとしての炎症, 免疫に関する研究
- 4) 心血管疾患のイメージング法
- 5) 糖尿病性心血管障害の機序, 診断と治療に関する研究
- 6) 新しい視点から見た不整脈治療
- 7) その他

応募資格: 日本国内で研究を行う40歳以下の研究者で, 国籍は不問(但し, 教授は除く)

助成金額: 200万円/1件, 総額1,400万円以内

2. 褒賞(内田賞)

褒賞対象: 日本国内で行った循環器分野の研究でかつ,

ACLS 講習会情報

循環器救急医療委員会

AHA ACLS プロバイダーコース受講のためには AHA BLS ヘルスケアプロバイダーコースの修了が必要です。未受講の方は、まずはこのコースを受講してください。詳しくはホームページ (<http://www.j-circ.or.jp/>) の「BLS・ACLS 講習会情報」をご参照ください。

日本循環器学会は2007年3月に、AHAと契約して国際トレーニングセンター(ITC)となり、循環器救急医療委員会(旧称：心肺蘇生法委員会)の中の教育部門としてECC(緊急心臓血管治療)プログラムを独自に推進させていく事になり、JCS-ITCコースとして各支部において開催致します。

私たちは日本での心臓突然死の予防と心停止の救命率の改善およびそれによる後遺症を減らすことを目標に掲げます。それには地域での「救命の連鎖」の確立が重要となります。そのためには、会員すべてが心肺蘇生法トレーニングを受け、医師・コメディカル・一般市民への指導者になること、そして特に循環器専門医は標準的な二次救命処置(Advanced Cardiovascular Life Support, ACLS)を習得し、循環器救急医療におけるチームリーダーになることが必要です。また、循環器専門医の受験資格にAHA-ACLS修了が必須となっています。このトレーニングコースは、アメリカ心臓協会(AHA)がこれまで築き上げてきたトレーニングプログラムを用いて実施されます。下記のコースに積極的に参加いただき、地域での「救命の連鎖」確立を推進していただける方を募集します。各コースの受講者募集の詳細は日本循環器学会ホームページ(<http://www.j-circ.or.jp/>)の「ACLS 講習会情報」にてご確認ください。

受講料 32,000円

受講対象者：原則として医療従事者(医師・看護師・救急救命士など日本国内での医療国家試験有資格者に限定します)

受講申し込み方法：当会ホームページ「BLS・ACLS 講習会情報」のページからご希望のコースをお選びいただき、オンラインフォームにてお申し込みください。以下のコーススケジュールの募集締め切りは延長される場合がありますので、ホームページにてご確認ください。

JCS-ITC2014/04/26-27関東甲信越支部新潟大学 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2014年4月26日(土)～27日(日)の2日間

会場：新潟大学 旭町総合研究棟4階 臨床技能研修センター

受講募集人数：18名

コースディレクター：船崎俊一(埼玉県済生会川口総合病院)

3月24日(月)まで募集(延長の場合もあり)

問い合わせ

関東甲信越支部 BLS/ACLS 講習会事務局 佐々木和也

Phone: 019-604-8784

Fax: 019-604-8244

E-mail: acslsjcskanto@acsls-jcs.org

JCS-ITC2014/04/26-27東海・北陸支部合同名古屋医療センター AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2014年4月26日(土)～27日(日)の2日間

会場：名古屋医療センター

受講募集人数：24名

コースディレクター：鈴木秀一(名古屋医療センター)

4月3日(木)まで募集(延長の場合もあり)

問い合わせ：

日本循環器学会東海支部事務局 渡辺裕一

Phone: 052-950-3365

Fax: 052-950-3370

E-mail: jcs-tokai@congre.co.jp

JCS-ITC2014/04/26-27関東甲信越支部本郷マッシュアップスタジオ AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2014年4月26日(土)～27日(日)の2日間
会 場：本郷マッシュアップスタジオ
受講募集人数：18名
コースディレクター：中山英人(埼玉医科大学病院麻酔科)
4月16日(水)まで募集(延長の場合もあり)
問い合わせ：
日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会事務局 佐々木和也
Phone: 019-652-5406
Fax: 019-604-8244
E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

JCS-ITC2014/05/10-11近畿支部滋賀医科大学 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2014年5月10日(土)～11日(日)の2日間
会 場：滋賀医科大学循環器内科学教室
受講募集人数：12名
コースディレクター：友渕 佳明(誠佑記念病院)
4月6日(日)まで募集(延長の場合もあり)
問い合わせ：
日本循環器学会近畿支部事務局 山口良彦
Phone: 075-212-2015
Fax: 075-212-0691
E-mail: kyoto@congre.co.jp

JCS-ITC2014/05/10-11関東甲信越支部国立病院機構東京医療センター AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2014年5月10日(土)～11日(日)の2日間
会 場：国立病院機構東京医療センター
受講募集人数：15名
コースディレクター：布施 淳(国立病院機構 東京医療センター 循環器科)
4月16日(水)まで募集(延長の場合もあり)
問い合わせ：
日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会事務局 佐々木和也
Phone: 019-652-5406
Fax: 019-604-8244
E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

JCS-ITC2014/05/10-11関東甲信越支部獨協医科大学創立30周年記念館 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2014年5月10日(土)～11日(日)の2日間
会 場：獨協医科大学創立30周年記念館
受講募集人数：12名
コースディレクター：菊地 研(獨協医科大学 心臓・血管内科)
4月21日(月)まで募集(延長の場合もあり)
問い合わせ：
日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会事務局 佐々木和也
Phone: 019-652-5406
Fax: 019-604-8244
E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

JCS-ITC2014/05/10-11関東甲信越支部相澤病院ヤマサホール AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2014年5月10日(土)～11日(日)の2日間
会 場：相澤病院ヤマサホール
受講募集人数：18名
コースディレクター：宮澤 泉(長野赤十字病院 循環器内科)
4月17日(木)まで募集(延長の場合もあり)
問い合わせ：
日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会事務局 佐々木和也
Phone: 019-652-5406
Fax: 019-604-8244
E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

JCS-ITC2014/05/17-18東海・北陸支部合同市立島田市民病院 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2014年5月17日(土)～18日(日)の2日間
会 場：市立島田市民病院 救急センター講堂
受講募集人数：12名
コースディレクター：岩嶋大介(市立島田市民病院)
4月21日(日)まで募集(延長の場合もあり)
問い合わせ：
日本循環器学会東海支部事務局 渡辺裕一
Phone: 052-950-3365
Fax: 052-950-3370
E-mail: jcs-tokai@congre.co.jp

JCS-ITC2014/05/24-25近畿支部和歌山県立医科大学 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2014年5月24日(土)～25日(日)の2日間
会 場：和歌山県立医科大学 臨床技能研修センター
募集人数：12名
コースディレクター：加藤正哉(和歌山県立医科大学)
4月20日(日)まで募集(延長の場合もあり)
問い合わせ：
日本循環器学会近畿支部事務局 山口良彦
Phone: 075-212-2015
Fax: 075-212-0691
E-mail: kyoto@congre.co.jp

JCS-ITC2014/06/14-15中国支部岡山赤十字病院 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2014年6月14日(土)～15日(日)の2日間
会 場：岡山赤十字病院 センター棟4階 研修室
受講募集人数：12名
コースディレクター：斎藤博則(岡山赤十字病院)
5月28日(水)まで募集
問い合わせ：
日本循環器学会 中国支部事務局 岡部英美
Phone: 0836-22-2248
Fax: 0836-22-2246
E-mail: ninai@yamaguchi-u.ac.jp

JCS-ITC2014/06/21-22関東甲信越支部自治医科大学 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2014年6月21日(土)～22日(日)の2日間
会 場：自治医科大学 20周年記念棟7F シミュレーションセンター
受講募集人数：12名
コースディレクター：菊地 研(獨協医科大学 心臓・血管内科)
6月2日(月)まで募集
問い合わせ：
日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会事務局 佐々木和也
Phone: 019-652-5406
Fax: 019-604-8244
E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

JCS-ITC2014/06/21-22関東甲信越支部本郷マッシュアップスタジオ AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2014年6月21日(土)～22日(日)の2日間
会 場：本郷マッシュアップスタジオ
受講募集人数：18名
コースディレクター：中山英人(埼玉医科大学病院麻酔科)
6月11日(水)まで募集
問い合わせ：
日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会事務局 佐々木和也
Phone: 019-652-5406
Fax: 019-604-8244
E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

JCS-ITC2014/06/21-22関東甲信越支部国立病院機構東京医療センター AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2014年6月21日(土)～22日(日)の2日間
会 場：国立病院機構東京医療センター
受講募集人数：15名
コースディレクター：布施 淳(国立病院機構 東京医療センター 循環器科)
5月30日(水)まで募集
問い合わせ：
日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会事務局 佐々木和也
Phone: 019-652-5406
Fax: 019-604-8244
E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

ACLS プロバイダー資格更新コース

受講料：18,000円

受講要件：

1. 有効期限内の BLS ヘルスケアプロバイダーカードを有すること
2. 有効期限内の ACLS プロバイダーカードを有すること

追補 1) 有効期限を過ぎている ACLS カードを有している場合、更新コースの受講は可能です。

ただし、実技試験、筆記試験ともに補習や再試験の機会はありませんので、万一、両試験に 1 回で合格しない場合には、ACLS 更新コースの再受講は不可となっております。

改めて 2 日間の通常の ACLS コースを受講いただくことになります(受講料も新たに必要となります)。

追補 2) AHA ACLS コースをこれまで一度も受講したことがない場合には、ACLS 更新コースの受講は原則として認められておりません。

JCS-ITC2014/04/20 関東甲信越支部 獨協医科大学 創立 30 周年記念館 AHA ACLS プロバイダー更新コース

開催日時：2014 年 4 月 20 日(日)

会 場：獨協医科大学 創立 30 周年記念館

受講募集人数：6 名

コースディレクター：松島久雄(獨協医科大学 救急医学)

3 月 23 日(日)まで募集(延長の場合もあり)

問い合わせ

日本循環器学会 関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会事務局 佐々木和也

Phone: 019-652-5406

Fax: 019-604-8244

E-mail: acsljcskanto@acsl-jcs.org

映像教材販売のご案内

喫煙防止映像教材販売のご案内

禁煙推進委員会

ご承知のように、喫煙は喫煙者のみならず受動喫煙者にとっても、虚血性心疾患をはじめとする循環器疾患、呼吸器疾患、がん、その他の疾患の発症・進展にとって重要な危険因子です。禁煙推進委員会では、医療現場からのメッセージを込めた『今から始める喫煙防止教育 2 版』という喫煙防止映像教材(DVD)を制作し、その販売をしておりますのでご案内申し上げます。

会員・非会員を問わずご購入いただけます。日本循環器学会禁煙推進委員会の意図と願いをご理解いただき、是非ご活用いただければ幸いです。

なおご購入のお申し込み・お問い合わせは、下記の特約代理店までお願い致します。

〈内容〉

- Part. 1：たばこ、やめてね
(小学校 1, 2 年生用 / 6 分)
- Part. 2：タバコのけむりはあぶないよ!!
(小学校 3, 4 年生用 / 10 分)
- Part. 3：タバコって本当はどんなもの?
(小学校 5, 6 年生用 / 12 分)
- Part. 4：考えてみよう タバコと健康
(中学生・高校生用 / 14 分)
- Part. 5：タバコか健康か あなたはどちらを選びますか
(一般・大学生用 / 17 分)

〈価格〉

2,052 円

(税込, 送料別)

〈購入お申し込み・お問い合わせ〉

(特約代理店)

(株)少年写真新聞社 メディア開発部

TEL : 03-3261-4001

FAX : 03-5276-7785

URL : <http://www.schoolpress.co.jp/home.html>



教育研修映像販売のご案内

教育研修委員会

下記の教材1タイトルご購入につき、専門医研修単位が3単位加算されます。本体についている返信はがきに必要事項をご記入の上、50円切手を貼ってご郵送ください。ただし、単位の付加は、ご購入ご本人のみに限りです。単位受付は同じタイトルにつき1回限りの受付となりますのでご了承ください。

※なお、単位申請ハガキの受付には期限があります。詳細は下記の各DVD単位申請期間をご確認ください。

ご購入の申し込みは、日循ホームページ(<http://www.j-circ.or.jp/>)の「刊行物購入のご案内」からオンラインでお受けしています。もしくはファックス(03-5501-9855)で、ご希望のタイトル、VHSかDVD(一部CD-ROM)か、氏名、会員番号、お届け先住所、電話番号をお書き添えの上、お申込みください。

■循環器研修ビジュアルシリーズ(日循会員価格 ¥6,480 税込)

2012年度制作分(DVDのみ) 単位申請期日:2015年3月31日

Vol.6.「循環器 physical examination の実際(第2版)

監修:吉川 純一

Vol.17.「心臓ペーシング治療の現状」

監修:萩原 誠久(東京女子医科大学循環器内科)

原案:真中 哲之(東京女子医科大学循環器内科)

2011年度製作分(DVDのみ) 単位申請期日:2014年3月31日にて終了。単位付与不可

Vol.3.「慢性心不全の病態をふまえた診断・治療(第2版)」

監修:筒井 裕之(北海道大学循環病態学)

Vol.16.「冠循環の形態的、機能的評価」

監修:赤阪 隆史(和歌山県立医科大学循環器内科)

Vol.18.「補助循環・心臓移植の臨床」

監修:許 俊鋭(東京大学重症心不全治療開発講座)

■循環器教育セッション

※DVD-ROMは家庭用DVDレコーダーでは再生できませんのでご注意ください

※座長所属はセッション開催時のもの。

第41回循環器教育セッション DVD-ROM ¥5,200(税込) 2013年3月15日(金)~17日(日)

単位申請期日:2015年3月31日

セッション I

1. 心臓 CT/MRI の最新動向

座長:尾崎 行男(藤田保健衛生大学循環器内科)

吉岡 邦浩(岩手医科大学放射線医学)

2. 閉塞性肥大型心筋症に対する PTSMA

座長:一色 高明(帝京大学循環器内科)

3. 心房細動アブレーションにおける三次元マッピングの活用

座長:熊谷浩一郎(福岡山王病院ハートリズムセンター)

沖重 薫(横浜市立みなと赤十字病院循環器内科)

セッション II 冠動脈血行再建術—診療ガイドラインを実臨床にいかにかすか?—

座長:落 雅美(日本医科大学心臓血管外科)

住吉 徹哉(榊原記念病院循環器内科)

セッション III 新しい抗凝固薬の臨床

座長:後藤 信哉(東海大学循環器内科)

山下 武志(心臓血管研究所付属病院)

第40回循環器教育セッション DVD-ROM ¥5,200(税込) 2012年3月16日(金)～18日(日)

単位申請期日：2014年3月31日にて終了。単位付与不可

セッション I

1. 心房細動のアブレーション：CFAE 法

座長：Koonlawee Nademanee (Pacific Rim Electrophysiology Research Institute, Los Angeles, USA)

奥村 謙 (弘前大学循環呼吸腎臓内科学)

2. 3D エコーと僧帽弁形成術

座長：尾辻 豊 (産業医科大学第二内科)

川副 浩平 (聖路加国際病院心血管センター心臓血管外科)

3. 大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル大動脈弁植込み術

座長：友池 仁暢 (榊原記念病院)

中谷 敏 (大阪大学保健学専攻)

セッション II 重症心不全治療の新しい展開

座長：和泉 徹 (北里大学循環器内科学)

許 俊鋭 (東京大学重症心不全治療開発講座／東京都健康長寿医療センター心臓外科)

セッション III 肺動脈血栓塞栓症の予防・診断・治療

座長：安藤 太三 (藤田保健衛生大学心臓血管外科)

伊藤 正明 (三重大学循環器・腎臓内科学)

第39回循環器教育セッション DVD-ROM ¥5,200(税込) 2011年8月3日(水)～4日(木)

単位申請期日：2014年3月31日にて終了。単位付与不可

セッション I ビデオで見る最新の心血管カテーテル治療

1. 心房細動に対するカテーテルアブレーション

座長：熊谷浩一郎 (国際医療福祉大学循環器内科)

山根 禎一 (東京慈恵会医科大学循環器内科)

2. ASD のカテーテル閉鎖術

座長：中西 敏雄 (東京女子医科大学循環器小児科)

高山 守正 (榊原記念病院)

3. ここまで来た胸部ステントグラフト内挿術

座長：吉川 公彦 (奈良県立医科大学放射線医学教室)

加藤 雅明 (森之宮病院心臓血管外科)

セッション II 高齢者における循環器疾患の管理と問題点

座長：荻尾 七臣 (自治医科大学循環器内科学部門)

江頭 正人 (東京大学総合研修センター)

大内 尉義 (東京大学加齢医学講座)

セッション III 心臓手術後のリハビリテーションー内科・外科の連携ー

座長：野原 隆司 (北野病院心臓センター)

佐賀 俊彦 (近畿大学心臓血管外科)



購入し研修されると専門医研修単位が **3単位** 取得できます。

※単位の付加は、ご購入ご本人様のみに限ります、単位受付は同じタイトルにつき一回限りとなりますのでご了承ください。

DVD 購入者は

WEBでも

ご視聴いただけます!

これ一枚で**49セッション 258** 延べ座長・演者、
62 時間収録!

価格 **5,200円**

発行予定
6月20日

(送料、税別)

<収録内容>

美甘レクチャー

1 セッション

Molecular Control of Heart Development, Disease and Regeneration

真下記念講演

1 セッション

Signaling and Gene Expression for Cytokine Activity in Inflammation and Immunity: Contributions to Medical Science

会長講演

1 セッション

Cardiology in the Information Era: From Bench to Community

特別講演

11 セッション

- SL01. New Insights Regarding the Pathogenesis and Modification of Marfan Syndrome and Related Disorders
- SL02. Adipokine Involvement in Cardiovascular Disease
- SL03. Update on the Pathophysiology of Acute Myocardial Infarction
- SL04. Genetic Causes of Human Heart Disease
- SL05. microRNAs in Cardiovascular Diseases and Aging: From Mechanisms to Therapeutic Targets
- SL06. Hypoxia and Vascular Physiology
- SL07. Differential Effects of Preload and Afterload on Myocardial Gene Expression and Function
- SL10. Clinical Research and the Development of Medical Therapeutics
- SL11. Mechanisms for Diabetic Cardiomyopathy - Focus on Hyperinsulinemia
- SL13. Personal Genomes are Personalized
- SL14. Heart Failure with pEF

会長特別企画

5 セッション

- SS1. 我が国の地域医療の新展開にむけて
- SS3. 循環器病ナショナルデータベース
- SS4. 公正な臨床研究の進め方
- SS6. ゲノム科学の新展開
- SS7. 利益相反を考える

プレナリーセッション

5 セッション

- PL01. Coronary Revascularization Based on Evidence Based Medicine - Comparing PCI and CABG - Reality and Ideal
- PL02. Progress in Heart Failure Treatment
- PL03. Regenerative Therapy in Cardiovascular Field
- PL04. 循環器診療ガイドラインと日本の EBM - 信頼を取り戻すために -
- PL08. 循環器病学のトランスレーショナルリサーチ

シンポジウム

10 セッション

- SY01. 冠循環を見直す：心筋虚血の発生機序から評価まで
- SY02. Molecular Mechanisms Linking the Coronary Risk Factors and the Development of Atherosclerosis
- SY04. Challenges of Non-pharmacological Treatment of Life-threatening Malignant Ventricular Tachyarrhythmias
- SY05. 心不全治療の進歩—内科・外科の集学的アプローチ—
- SY06. Molecular Mechanism for Myocardial Hypertrophy and Heart Failure
- SY11. 循環器疾患ネットワークとレジストリ
- SY14. カテーテル治療における女性医師の勤務環境：現状と課題
- SY17. 肺高血圧症に期待される新しい治療法
- SY21. IT と循環器診療
- SY22. How Has the Comprehensive Genomic Analysis Altered the Clinical Status of Cardiovascular Medicine? - Linkage between the Genetic, Clinical and Epidemiological Sciences, and Its Future Perspective -

ジョイントシンポジウム 1 ～ 5 全て

5 セッション

- 1. AHA-JCS Joint Symposium
Future Prospect of iPS Cells and Direct Induction
- 2. ACC-JCS Joint Symposium
Imaging Modalities to Detect Vulnerable Plaque
- 3. Meet the ESC
ESC-JCS Guideline Session of Heart Failure
- 4. Meet the ESC
TAVI update
- 5. Meet the ESC : ESC-JCS Joint Symposium
Impact of Coronary Imaging on the Mechanism and Prediction of Acute Coronary Syndrome (ACS)

ラウンドテーブルディスカッション

1 セッション

- RT01. 心房細動のアブレーション治療

トピック

4 セッション

- TP03. 内科と外科のハイブリッド治療
- TP04. 心臓シミュレーター
- TP09. 医師のキャリアパスを広げる
- TP11. 腎デナーベーション：循環器疾患治療への展開

コントロバシー

2 セッション

- CO 02. 発作性心房細動に対する薬物療法 vs カテーテルアブレーション
- CO 03. CABG vs PCI (SYNTAX5 年の成績を受けて)

ミート・ザ・エキスパート

3 セッション

- ME05. 心エコーの進歩
- ME07. 心臓移植の現場—脳死判定から移植後免疫抑制療法まで—
- ME08. マルフアン症候群に代表される遺伝性大動脈疾患の診断と治療

お申込みはインターネットまたは FAX でもお申込み頂けます。

日本循環器学会ホームページから、又は、https://www.medicalvista.jp/jcs_dvd にアクセスしてください。

DVDに収録されている座長・演者名(ご所属)及び演題名もご覧いただけます。

■お問い合わせ先

株式会社 メディカルビスタ

0120-046-844

FAX : 03-6368-9509

Mail : jcsdvd@medicalvista.jp

第78回日本循環器学会学術集会 DVD-ROMのお申込

価格 1部 ¥5,200 (送料、税込)

お申込方法

① インターネットの場合

日本循環器学会ホームページ (<http://www.j-circ.or.jp>) 「刊行物購入のご案内」 から、

又は、次のURLにアクセスしお申込ください。

https://www.medicalvista.jp/jcs_dvd

② FAXの場合

下記お申込書にご記入頂き、**03-6368-9509** まで FAX にてお申込ください。

お支払方法

<お申込者個人名の場合>

■銀行振込、■郵便振替、又は■クレジットカード払いの何れかでお支払いください。

お申込受付後、ご指定いただいたお支払い方法についてのご案内をお送り致します。

ご送付先は、E-Mail アドレスのご記入がある場合 E-mail アドレス宛に、E-mail アドレスのご記入がない場合、FAX 番号宛にお送りいたします。上記の何れかの方法でお支払いください。

DVDの発送はお支払い確認後、随時対応します。

<団体又は法人名の場合>

請求書、納品書、領収書等の発行を必要とされる場合、その他通信欄にご記入下さい。

DVD納品後のお支払いにつきましてもお申し出いただければ可能でございます。

第78回 学術集会DVD-ROMのお申込書

(FAX 番号、又は E-mail アドレスのどちらか必ずご記入ください。)

2014年 月 日

フリガナ お名前	申込部数	会員番号
ご所属	お支払方法 ☐ 銀行振込 ☐ 郵便振替 ☐ クレジットカード払い	
ご住所(ご送付先) 〒		☐ ご所属先 ☐ ご自宅
ご連絡先	TEL :	FAX :
E-mail アドレス	@	
その他通信欄		

JCS78

<ご提供いただきます個人情報は、個人情報保護法に準拠して取扱います>

企画著作 一般社団法人日本循環器学会

制作販売受託

株式会社メディカルビスタ 日循 DVD-ROM 事務局

☎ 0120-046-844 (9:30-18:30) FAX: 03-6368-9509

E-mail: jcsdvd@medicalvista.jp



JCS2014

第42回 循環器教育セッション

会場：東京国際フォーラム 日時：2014年3月21～23日

発行予定
6月20日

DVD-ROM発売!!

DVD購入者はWEBでも視聴いただけます。

価格 **5,200円** (送料、税別)購入し研修されると専門医研修単位が **3単位** 取得できます。

※単位の付加は、ご購入ご本人様のみに限ります。単位受付は同じタイトルにつき一回限りとなりますのでご了承ください。

お申込みはインターネットまたはFAXでもお申込み頂けます。

日本循環器学会ホームページから、又は、https://www.medicalvista.jp/jcs_dvd にアクセスしてください。

<収録内容>

教育セッション I

ビデオセッション I-1
心房細動アブレーションの進歩

学会1日目 3月21日(金) 8:30～12:40

座長:

沖重 薫 (横浜市立みなと赤十字病院心臓病センター)
奥村 謙 (弘前大学循環呼吸腎臓内科学講座)

演者:

Marc Dubuc (Montreal Heart Institutes, Canada)

教育セッション I

ビデオセッション I-2
大動脈ステントグラフト

学会1日目 3月21日(金) 8:30～12:40

座長:

吉川 公彦 (奈良県立医科大学放射線科)
荻野 均 (東京医科大学心臓血管外科)

演者:

松田 均 (国立循環器病研究センター心臓血管外科)
加藤 雅明 (森之宮病院心臓血管外科)
坂口 昇二 (松原徳洲会病院放射線科)

教育セッション I

ビデオセッション I-3
ASD

学会1日目 3月21日(金) 8:30～12:40

座長:

赤木 禎治 (岡山大学病院循環器疾患集中治療部)
河村 朗夫 (慶應義塾大学循環器内科)

演者:

矢崎 諭 (国立循環器病研究センター小児循環器科)
河村 朗夫 (慶應義塾大学循環器内科)
中川 晃志 (岡山大学病院循環器内科)

教育セッション II

Structural Heart Disease に対する
カテーテル治療の進歩

学会2日目 3月22日(土) 8:30～10:30

座長:

高山 守正 (榊原記念病院循環器内科)
新浪 博 (埼玉医科大学国際医療センター心臓血管外科)

演者:

赤木 禎治 (岡山大学病院循環器疾患集中治療部)
鳥飼 慶 (大阪大学心臓血管外科)
小宮山 伸之 (埼玉医科大学国際医療センター心臓内科)
原 英彦 (東邦大学医療センター大橋病院循環器内科)
松本 崇 (Heart Institute, Cedars-Sinai Medical Center, USA)
高見澤 格 (榊原記念病院循環器内科)

教育セッション III

日常診療における他科との連携
円滑な循環器内科コンサルテーションを考える

学会3日目 3月23日(日) 14:00～16:00

座長:

山科 章 (東京医科大学第二内科)
前村 浩二 (長崎大学循環病態制御内科学)

演者:

吉野 秀朗 (杏林大学第二内科)
長尾 建 (駿河台日本大学病院循環器科)
神谷 千津子 (国立循環器病研究センター周産期・婦人科)
是恒 之宏 (大阪医療センター臨床研究センター)
安齊 俊久 (国立循環器病研究センター心臓血管内科)
西村 真人 (桃仁会病院循環器科)

●動作環境

※本DVD-ROMはDVD-Videoプレイヤーでは再生できません。

Windows

Intel Pentium 4 2.33GHz 同等以上のプロセッサ
256MB RAM (512MB 以上推奨)

プラットフォーム:

Windows 2000、Windows XP、Windows Vista、Windows 7

ブラウザ:

Microsoft Internet Explorer 6以降、Firefox 2.x以降、AOL 9、Opera 9.5以上、Safari 3.x

1024×768 / 16ビットのカラービデオディスプレイアダプタ

Macintosh

PowerPC G4 1.25GHz 以上のプロセッサ
Intel Core Duo 1.33GHz 以上のプロセッサ

256MB RAM (512MB 以上推奨)

プラットフォーム: Mac OS X v10.4.x、10.5

ブラウザ:

Firefox 2.x以降、AOL for Mac OS X、Opera 9.5、Safari 3.x
1024×768 / 16ビットのカラービデオディスプレイアダプタ

■お問い合わせ先

株式会社 メディカルビスタ

TEL 0120-046-844

FAX: 03-6368-9509

Mail: jcsdvd@medicalvista.jp

第42回 循環器教育セッションDVD-ROMのお申込

価格 1部 ¥5,200 (送料、税込)

お申込方法

① インターネットの場合

日本循環器学会ホームページ (<http://www.j-circ.or.jp>) 「刊行物購入のご案内」から、

又は、次のURLにアクセスしお申込ください。

https://www.medicalvista.jp/jcs_dvd

② FAXの場合

下記お申込書にご記入頂き、**03-6368-9509** まで FAX にてお申込ください。

お支払方法

<お申込者個人名の場合>

■銀行振込、■郵便振替、又は■クレジットカード払いの何れかでお支払いください。

お申込受付後、ご指定いただいたお支払い方法についてのご案内をお送り致します。

ご送付先は、E-Mail アドレスのご記入がある場合 E-mail アドレス宛に、E-mail アドレスのご記入がない場合、FAX 番号宛にお送りいたします。上記の何れかの方法でお支払いください。

DVDの発送はお支払い確認後、随時対応します。

<団体又は法人名の場合>

請求書、納品書、領収書等の発行を必要とされる場合、その他通信欄にご記入下さい。

DVD納品後のお支払いにつきましてもお申し出いただければ可能でございます。

第42回 循環器教育セッションDVD-ROMのお申込書

(FAX 番号、又は E-mail アドレスのどちらか必ずご記入ください。)

2014年 月 日

フリガナ お名前	申込部数	会員番号
ご所属	お支払方法 ☐ 銀行振込 ☐ 郵便振替 ☐ クレジットカード払い	
ご住所(ご送付先) 〒		☐ ご所属先 ☐ ご自宅
ご連絡先	TEL :	FAX :
E-mail アドレス	@	
その他通信欄		

JCS_ES42

<ご提供いただきます個人情報は、個人情報保護法に準拠して取扱います>

企画著作 一般社団法人日本循環器学会

制作販売受託

株式会社メディカルビスタ 日循 DVD-ROM 事務局

☎ 0120-046-844 (9:30-18:30) FAX: 03-6368-9509

E-mail: jcsdvd@medicalvista.jp

和文論文投稿誌 **心臓** のご案内

論文投稿および購読のお願い

2012年4月(第44巻 第4号)より、「心臓」は
日本心臓財団と日本循環器学会の共同発行となりました。
循環器領域の若手研究者を育てる和文投稿を中心に、
最新のトピックスや研究会など、充実した内容をお届けしています。
和文論文をぜひ投稿してください。また、本誌をご購読ください。
なお、日本心臓財団では本誌をご支援いただく教室(医局)・病院(医院)賛助会員も
募集しております。詳細は日本心臓財団事務局にお問合せください。

「心臓」

発行：公益財団法人日本心臓財団、一般社団法人日本循環器学会

制作：株式会社日本医学出版 心臓編集室

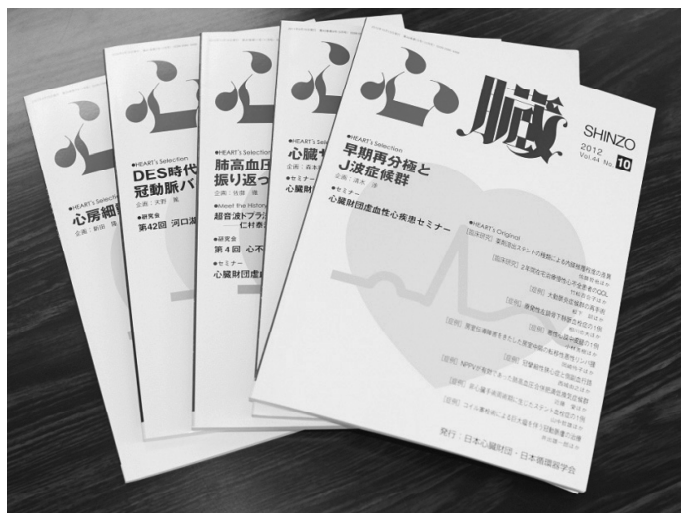
発売：株式会社西村書店

定価：2,160円(本体2,000円+税)

年間予約購読料(12冊分) 25,920円(本体24,000円、送料は負担いたします)

編集委員会

山口 徹(編集委員長)、代田浩之(副編集委員長)、磯部光章、小野 稔、加藤貴雄、
木村一雄、倉林正彦、佐地 勉、竹石恭知、百村伸一、山科 章、四津良平



投稿に関するお問い合わせ

(株)日本医学出版「心臓」編集室

電話：03-5800-2350

FAX：03-5800-2351

購読の申し込み・お問い合わせ

(株)西村書店 担当：岩永

電話：03-3293-9311

FAX：03-3293-9314

事務局からのお知らせ

〈住所／勤務先変更の届出について〉

毎月の「CJ」や各地方会の開催案内、プログラム等を確実にお手許にお届けできるよう、適時、住所／勤務先変更の届出をお願いしております。

ホームページ (<http://www.j-circ.or.jp/>) より、会員限定ページにて変更登録をお願い致します。 または、当会告末尾の「登録事項変更届」をご利用ください。

なお、学会活動や医療情報などに関する重要なお知らせをEメールで発信する機会が増えておりますので、可能な限りEメールアドレスをお届け下さいますようお願い致します。

〈会員限定 HP へのアクセス等について〉

- UMIN(大学病院医療情報ネットワーク)のID を利用しての会員のみのアクセス制限をしております。
- 新規ご入会の先生につきましては、当学会にてUMINID の取得申請を代行しております。ご入会手続き後にUMINID が取得次第、順次ID と仮パスワードを郵送致します。
- UMIN メールアドレスにつきましては、各先生方のID@umin.ac.jpにてご利用いただけます。電子メールソフトの設定の詳細はUMIN ホームページ (<http://www.umin.ac.jp/>) をご確認ください。

● 学会に関する問い合わせは下記事務局までご連絡下さい。

(一社)日本循環器学会

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-1 帝国ホテルタワー18F

※京都事務局は2013年7月15日(月)をもって東京事務局に統合されました。

会員の先生方への利便性向上の為、2013年8月27日(火)より業務担当ごとに直通電話番号を開設いたしました。どうぞご利用下さい。

各業務担当メールアドレス・電話番号のご案内		
	メールアドレス	電話番号
代 表	admin@j-circ.or.jp	03-5501-0861
総務(登録事項変更・退会等)	soumu@j-circ.or.jp	
編集(Circulation Journal 関連)	cj@j-circ.or.jp	
情報広報(購読・HP・入会・地方会)	webmaster@j-circ.or.jp	
BLS/ACLS 関連事業	itc@j-circ.or.jp	
国内交流	kokunai@j-circ.or.jp	03-5501-0862
学術集会・ガイドライン関連	meeting@j-circ.or.jp	
国際交流	international@j-circ.or.jp	03-5501-0863
経理(各請求書・年会費等)	keiri@j-circ.or.jp	
専 門 医	senmoni@j-circ.or.jp	
禁 煙	nonsmoking@j-circ.or.jp	

FAX(業務共通)

03-5501-9855

ホームページ URL

<http://www.j-circ.or.jp/>

一般社団法人 日本循環器学会

登録事項変更届

[ホームページからもお届けが可能です]

TEL (03) 5501-0861

FAX (03) 5501-9855

E-mail: soumu@j-circ.or.jp

ホームページ : <http://www.j-circ.or.jp/>

会員番号 :	【6桁】	生年月日 : 19 年 月 日 (歳)
フリガナ :		
会員氏名 :		
(旧姓名 :)		
勤務先 :		
名 称		
部・科 役 職		
所在地 〒 -		
代 表 TEL () - FAX () -		
内線		
直 通 TEL () - FAX () -		
旧勤務先名称 :		
自 宅 : 〒 -		
TEL () - FAX () -		
旧自宅住所 :		
E-mail :		
変更希望日 : 年 月 日 変更	送本先(連絡先) : ☐ 勤務先 ☐ 自宅	
英文誌 Circulation Journal の送付を : ☐ 希望する ☐ 希望しない		
退 会 届【退会希望者のみ記入】		
年 月 日をもって退会します。 / 退会事由 :		
事務局への通信欄 :		

* ご提供いただきました個人情報は、学会サービスの提供その他本会の事業目的に沿って行う活動およびこれに付随する業務を行う目的の範囲内においてのみ利用させていただきます。

* 重要なお知らせを E-mail でお届けする機会が増えております。ぜひメールアドレスをご登録ください。

学会誌 Circulation Journal の送本について

Circulation Journal は、希望者のみへの送本を実施しております。送本ご不要のお手続きは、以下にて受付けています。

- Fax: 03-5501-9855
- E-mail: soumu@j-circ.or.jp
- 日本循環器学会 HP(会員事務手続)

*対象は CJ 英文誌のみで、会告、ガイドライン誌、循環器専門医誌は、今まで通り全員に送本されます。

*CJ 送本不要を申し出られた方のみ、送本を停止します。

*CJ 送本不要でも、年会費に変更はありません。

※なお、CJ では、全掲載論文を Online Journal(J-STAGE)にて無料公開しております。

<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/circj>

以上

英文誌 Circulation Journal の送本は、不要です。

氏 名：_____

会員番号：_____
(封筒の宛名ラベル右下に記載の 6 桁の数字)

年 月 日

(注) 氏名・会員番号は必ずご記入下さい。